

座光寺公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ぴよぴよ学級		市・地	継続	18	220	26	58	実施内容参照	座光寺公民館
	目的	0～1歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。	実施内容	・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康、発育指導や母親の子育てに関する相談を保健面、保育面より実施。 ・開催日5/16、6/6、6/20、7/4、7/18、8/1、9/5、9/19、10/3、10/17、11/7、11/20、12/5、12/19、1/16、2/6、2/20、3/6			評価	【総括と今後の方向付け】 親子のふれあいを深める内容を多く企画でき積極的な参加に繋がった。「孤独な育児」を少しでも減らせるような活動に繋がっていると感じるが、「悩める育児」へのアプローチが不足しているため、楽しむだけでなく学習的な要素を今後は取り入れる必要がある。		
学級・講座	2歳児学級		市・地	継続	18	200	18	44	実施内容参照	座光寺公民館
	目的	2歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。	実施内容	・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康、発育指導や母親の子育てに関する相談を保健面、保育面より実施。 ・開催日5/22、6/12、6/26、7/10、7/24、8/28、9/11、9/25、10/9、10/23、11/13、11/20、12/11、1/8、1/22、2/12、2/26、3/12			評価	【総括と今後の方向付け】 親子のふれあいを深める内容を多く企画でき積極的な参加に繋がった。「孤独な育児」を少しでも減らせるような活動に繋がっていると感じるが、「悩める育児」へのアプローチが不足しているため、楽しむだけでなく学習的な要素を今後は取り入れる必要がある。		
学級・講座	アンパンマンの会		市・地	継続	18	140	17	36	実施内容参照	座光寺公民館・保育園
	目的	3歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。	実施内容	・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康、発育指導や母親の子育てに関する相談を保健面、保育面より実施。 ・開催日5/20、6/10、6/17、7/18、7/29、8/26、9/9、9/27、10/14、10/21、11/11、11/20、12/9、12/16、1/14、1/27、2/10、3/3			評価	【総括と今後の方向付け】 次年度の園生活が円滑にスタートできるよう、開催の半分は公民館、残りの半分は保育園の開放日に合わせて保育園で行った。活動は親子で楽しむものが多いが、楽しむ中にも学習の要素を取り込み行うことで母親の意識啓発を促していると感じる。		
学級・講座	麻績いきいき大学		市・地	継続	5	150	57	4,589	実施内容参照	実施内容参照
	目的	高齢者の生涯学習推進を目的に「ともに学び、ともに成長する」場とする。	実施内容	・陶芸部、合唱部、ハーモニカ部、水墨画部に入部いただき、各部で自主的な運営企画を随時行う。全体活動として一般教養講座を4回/年開催。 第1回 4/30 「サイエンスショー 超低温の不思議な世界」 講師：おもしろ科学工房 会場：麻績の館 第2回 8/27 「オレオレ詐欺(振り込め詐欺)対策講座」 講師：井川 久 会場：麻績の館 第3回 12/17「いきいき人生を」 講師：塩沢知治 会場：麻績の館 第4回 3/3 「囲碁ボールでリフレッシュ」 講師：松澤和敏 会場：麻績の館 研修旅行 9/19開催。研修先：福井県立若狭歴史民俗資料館ほか 参加者：19名			評価	【総括と今後の方向付け】 各学部の活動は、参加者による自主運営により随時開催されその活動が高齢者のやりがいとなっている。年4回の教養講座については、参加者の中から選出される運営委員が主体となって活動を展開することが望ましいが、現状はできていない。今年度は「オレオレ詐欺(振り込め詐欺)対策講座」から「囲碁ボール」まで、幅広い内容で講座が開かれた。学生の高齢化が目立ってきているため、今後も引き続き、幅広い年齢層に呼びかけていくことが必要である。		

座光寺公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	子育て応援講座		市・地	新規	3	16		165	実施内容参照	座光寺公民館
	目的	子育て世代の保護者を対象に学習会を開催し、子育ての悩みを解消するだけでなく子育て支援グループの発足を図る	実施内容	<p>現在母親が抱えている悩みや課題を解決するための講座を3回(9月・11月・3月)開催する。0歳～3歳の子を持つ母親全員を対象に乳幼児学級等で周知を図り実施。</p> <p>事前検討会 10/24 子育て講座の内容を一緒に考えましょう 参加なし</p> <p>第1弾 11/27 ほっと一息♪ ～アロマ効果で心を癒そう～ 講師:小島みすえ 会場:座光寺公民館 参加者:6名</p> <p>第2弾 3/10 みんなに聞こう♪ ～食事、しつけのお悩み相談～ 講師:今井 奈穂美 会場:座光寺公民館 参加者:10名</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 地域の女性参加が少ないという課題に対して、女性の地域デビューを目的にスタートして2年目となる。今年も子育ての悩みの解決を切り口に講座を開催した。当初3回の講座を予定していたが、講師選定などの段取りがうまくいかず2回となってしまった。今後も女性の地域デビューという大きな目標を見据えつつ、子育て応援や悩み相談の中から少しずつ着実に講座を展開していきたい。今後も乳幼児学級も含めて内容を再検討し、少しでも悩みが解消できるよう努める必要がある。</p>		
学級・講座	合唱劇カネト座光寺公演		市・地	新規	1	1,000	1,000	4,589	実施内容参照	座光寺公民館
	目的	一般を対象に、一人ひとりが尊重され誰もが多様性の文化を理解し、社会活動に主体的に参加することを促進する。	実施内容	<p>内容:人権教育の一環として、座光寺小学生全校児童、PTA、地域住民を対象に、飯田線中部の前身「三信鉄道」の建設時に、測量技師・現場監督を務めた、アイヌの技術者「川村カネト(川村カ子ト)」氏の生涯について合唱劇を通して学習する。</p> <p>共催:座光寺小学校、座光寺小学校PTA、座光寺公民館</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 開場は満員となり、多くの住民が観覧した。観劇を通して、人権教育を推進することができた。また、座光寺公民館で活動しているコーラスグループや飯田女子高等学校音楽クラブも出演するなど、非常に盛り上がった。</p>		
文化事業	座光寺人形劇まつり		市・地	継続	1	452	452	4,589	8月9日	座光寺公民館
	目的	座光寺地域住民を対象に人形劇を通じて文化振興を図る。	実施内容	<p>昨年度から座光寺公民館に会場を統一して実施。今年もローテーションを組み4劇団の連続公演を実施することができた。また、4劇団全部の人形劇を見て欲しい、この会場で1日楽しんで欲しいという思いから、「座光寺人形劇リレーでお宝GETだけ」(地区企画公演)と称して4劇団のスタンプラリーを昨年度に引き続き実施した。今年度は、「演じる」体験も参加者にしてもらおうと、スタンプラリーに人形操り体験を加えた。そのほか、誰でも利用可能な交流スペースを2室設け、ホットドッグや果物等を無料提供、公民館前での屋台設置などを行った。</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 会場を座光寺公民館1か所にまとめ、4劇団の連続公演として2年目となる。今年度も多くの観劇者となった。また、観劇者に「演じる」体験してもらいたいという考えから、スタンプラリーの中に人形操り体験を加えた。多くの子どもが糸操りの体験をすることができた。反省の中で、地区外からの観劇者で本当は来たかったがたどり着けなかった方がいたとのことなので、来年は地区外の方にも分かりやすい案内をする必要がある。</p>		
文化事業	座光寺地域文化祭		市・地	継続	1	800	800	4,589	1月31日、2月1日	光寺公民館及び周辺施設
	目的	地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る	実施内容	<p>地域の皆でつくる地域最大の文化の祭典として位置づけ、多彩な催しを計画。</p> <p>【ふるさとコンサート】小・女子高吹奏楽部、プロ奏者4人組「アンサンブル“ザ・Ichi”」</p> <p>【特別展】恒川官衙遺跡</p> <p>【各種団体展示】個人団体各種ブースを設置</p> <p>【芸能発表】コーラス、ダンス、大正琴、太鼓等15団体が発表</p> <p>【竹田人形館活用事業】竹田人形座竹の子会公演、座光寺地域写真展</p> <p>【各種イベント】地域づくりフォーラム、麻績の里種まき大賞授賞式、水辺の広場大賞表彰式、消防ふれあい広場、癒しのアロマ、古本市、小学校学習発表会、福祉バザー、もちつき体験、中夜祭など</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 文化祭を個人や団体の成果発表の場として考えると、地域で活動している個人や団体の展示や芸能発表者が減少していることに不安を感じる。また、地域づくりフォーラムやふるさとコンサートへの参加者の少なさが懸念される。地区への周知の仕方を工夫を検討する必要がある。しかし、今年も女子高の参加が多く、芸能発表では3団体の参加があり会場を盛り上げた。文化祭の目的をどこに設定して開催するかを次年度の課題として検討したい。</p>		

座光寺公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	麻績の里地域づくり種まき大賞		地区費	継続	1	60	60	4,589	1月31日	座光寺公民館
	目的	地域に良い種を蒔いてくれた方を表彰することで新たな芽吹きへと繋げる。	実施内容	地域の中で温かな心の種を蒔いた個人や団体、地域のことを思って活動している個人や団体などを紹介し、麻績の里に蒔かれた地域づくりの種を大きく育てていくことを主旨に、家庭(家族のふれあいへの提言・行為)・環境(環境美化・環境浄化への提案・行為)・地域(地域向上への提案・行為)の部門ごとに文化祭において表彰する。 受賞者:子ども桜ガイド、唐沢地区、地域移送サービス運転ボランティア 計3団体			評価	【総括と今後の方向付け】 各地区から寄せられた推薦者を選考委員会で選考し、文化祭の中夜祭で授賞式を実施。あまり表に出ない地域貢献活動を、大勢の人が集まる文化祭に併せて行うことで、受賞者だけでなく参加者も地域活動に対する意識が高まるのではないかと感じる。今回蒔かれた種は今後大きく成長して欲しい。		
文化事業	座光寺地域成人式		他会計	継続	1	28	28	39	1月11日	座光寺公民館
	目的	今年度二十歳を迎える方を対象に、地域で祝い、地域の一員としての自覚を持ってもらうようにする。	実施内容	地域の新成人を地域で祝いたいという声から、座光寺地域単独開催となって2回目。今年度も座光寺の歌斉唱、昨年度新成人からの激励、保護者からの一言など、地域らしさをだすことができた。また、今年度は式典の司会進行を新成人実行委員の二人が担い、より新成人が自ら創る成人式にすることができた。			評価	【総括と今後の方向付け】 実行委員会の組織体制及び役割を明確にし、地域の魅力再発見等の新成人の活動も含めて、実行委員会内で協力しながら進めたい。地域で新成人を祝う成人式であることだけでなく、新成人が自分たちの成人式を自分たちで計画するということが大切にしていきたい。		
文化事業	大人の体験教室		地区費	新規	1	33	33	4,589	2月27日	座光寺公民館
	目的	大人を対象に体験学習を行い学習意欲の向上を図る。	実施内容	昨年度行った座光寺公民館アンケート結果をもとに開催したところ大変好評だったため、今年度も開催。大人のテイスティングと題してワインを楽しくおいしく飲む講座をバージョンアップして実施。講師:浜島晃さん(ソムリエ)			評価	【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き、今年度も好評だった。アンケートを見ても、これからも続けてほしいという感想が多いので、住民のニーズにあった講座であると感じる。		
体育事業	春季スポーツ大会		地区費	継続	1	600	600	4,589	6月1日	実施内容参照
	目的	住民の体力増強と大会及び懇親会を通じて地区内のコミュニケーションを図る	実施内容	ペタンク、ワンバウンドふらば～るバレー、ソフトボールの3種目を地区対抗で行う。各競技を通じて、日頃の運動不足を解消し基礎体力の増加及び地区内の交流を図る。また幅広い年代で行えるニュースポーツの振興をはかる。 ・総合 優勝:原、準優勝:高岡、3位:恒川清水 ・ソフトボール 場所:座光寺小学校校庭 優勝:高岡、準優勝:恒川・清水、3位:中・中・欠、原 ・ふらば～るバレー 場所:座光寺小学校校体育館 優勝:原、準優勝:恒川清水、3位高岡・宮崎 ・ペタンク 場所:座光寺保育園園庭 優勝:下羽場、準優勝:唐沢、3位:中・中・欠、宮崎			評価	【総括と今後の方向付け】 ニュースポーツは誰でも楽しく競技を行える種目のため、地区民全員が汗をかき楽しめ交流を深めることができた。ニュースポーツが普及すれば幅広い年代が参加できる実施種目が増え、今以上に地区内の親交を深めれるのではないかと感じる。現在はペタンクが主流となっているため、新たな種目を体験できるニュースポーツ講習会等を行うことで、本事業の種目を検討するきっかけに繋がると感じる。また、地区交流月間でも種目の選択肢が増え、大勢の参加が期待でき、交流がさらに深まるのではないかと感じる。		
体育事業	高陵地区体力測定会		地区費	継続	1	47	47	18,000	6月22日	上郷体育館及び校庭
	目的	高陵地区住民を対象に体力測定会を行い、健康への関心を深める。	実施内容	高陵地区スポーツ推進委員が主催、上郷・座光寺公民館と高陵わくわくが共催で行った。自身の体力測定や、保健課による健康企画などを通じて健康推進を図る。 <内容> ・文部科学省「新体力テスト実施要領」に基づいたメニューによる体力測定及び判定。 ・「咬合力測定」保健課で実施。 ・「心と体のリラックス体験」スポーツ推進委員			評価	【総括と今後の方向付け】 小学生から大人まで幅広い年齢層の参加があり、年に1度改めて自身の体力について見直す良い機会の場となっている。しかし、座光寺住民の参加者は非常に少ない。会場場所、周知方法、内容等を検討していく必要がある。また、共催で行っているため、関係団体の間で意識を共有していく必要がある		

座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ニュースポーツ講習会	地区費	継続	1	8	8	19	6月22日	小学校体育館・校庭
	目的 ニュースポーツを通じて、住民の体力増進とコミュニケーションの向上を図る。	実施内容 住民の体力増進とニュースポーツを通じて地区内のコミュニケーション向上を図る。 <内容> グランドゴルフ、カローリング、囲碁ボール、スローイン・ボトルを試合形式で講習 参加:地区体育係8名	評価 【総括と今後の方向付け】 この講習会で、これまであまり馴染のなかったニュースポーツも知ることで、地区スポーツ交流月間の組み立てに役立ててほしいというねらいで開催をした。今後、交流月間の結果を地区から教えてもらい、更に内容を検討していきたい。						
体育事業	夜間ペタンクリーグ	地区費	継続	4	480	120	4,589	実施内容参照	小学校校庭
	目的 住民の体力増強と大会及び懇親会を通じて地区内のコミュニケーションを図る	実施内容 参加しやすい夜間に開催することで、参加者を増やし多くの方が日頃の運動不足を解消する場としたい。また、ペタンクという誰でも行える競技にすることで、幅広い年齢層からの参加を促す。 期日:6月第2週日から4週連続水曜日(6/4、6/13、6/20、6/27) 場所:座光寺小学校校庭 優勝:ニクメナイヤツラたち29・30A、準優勝:チーム大堤A、3位:昭雲会B ブービー賞:クラブタツミ	評価 【総括と今後の方向付け】 今年度は20チームの参加で行われた。この数年参加チーム数は減少傾向にある。しかし、地区の枠に縛られず有志でチームを作れる事業は他にあまりないため、このような事業をどう展開していけるかを検討していきたい。						
体育事業	座光寺盆野球大会	地区費	継続	1	60	60	4,589	8月17日	小学校校庭
	目的 住民の体力増強と大会及び懇親会を通じて地区内のコミュニケーションを図る	実施内容 お盆に行うことで、日頃事業に参加できない多くの人たちが参加できる機会とし、交流を行い地区内のコミュニケーションを深める場とする。日頃の運動不足を解消する機会としたい。 優勝:高陵野球部OBピンクチーム、準優勝:チーム夢萬亭 参加チーム数:6チーム	評価 【総括と今後の方向付け】 事業名から「お盆」を抜いて、時期をずらした開催も検討したが、お盆で帰省している人たちの参加も考え今年度も実施した。参加人数を増やすのであれば、開催時期、野球以外の種目を検討する必要がある。						
体育事業	座光寺地域市民運動会	地区費	継続	1	1,500	1,500	4,589	10月12日	小学校校庭
	目的 地域の連帯意識の向上と親睦、交流を図る	実施内容 「地域の親睦を深め活力を高める」をスローガンに参加率40%を目標に地区対抗で実施。各地区の取りまとめについては公民館委員ではない地区長及び地区体育係に依頼。全体の取りまとめは実行委員会体制を組織し運営する。 参加チーム数:16チーム 優勝:中・中・欠 準優勝:大堤 3位:高岡	評価 【総括と今後の方向付け】 各地区独自で工夫を凝らした応援や昼食会で今年も非常に盛り上がった。参加率は33.1%だった。座光寺で地区単位で集まる事業は体育事業以外あまりないため、地区内の親交をさらに深める工夫を考えたい。基本構想にも挙げられている運動会参加率40%を目指し、種目・内容等を検討していきたい。						
体育事業	地区スポーツ交流月間	地区費	継続	1			4,589	実施内容参照	各地区
	目的 住民の体力増強とスポーツ及び懇親会を通じて地区内のコミュニケーションを図る	実施内容 「高齢者から子どもまで地区内大勢の皆さんで楽しく交流」をテーマに、スポーツに捉われず地区住民が交流を図れる場として、各地区に実施を依頼。期間は7月～11月に各地区で開催日を決め企画運営を行う。	評価 【総括と今後の方向付け】 座光寺は分館がないため事業は地域全体で取り組むことが多く地区の取組みは少ない。そのような状況から、健康増進という目的だけでなく地区の絆づくりという目的も含んだ事業となっている。しかし、ペタンクやマレットゴルフ等内容の固定化や交流人数も減少傾向であるため、今年度はニュースポーツ講習会を開催し、内容を見直す機会を提供した。また、本事業の目的を地域内で共有し、本事業を通じて地区内の交流をさらに深めていきたい。						

座光寺公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	冬季ソフトバレーボール大会		地区費	継続	1			4,589	3月1日	小学校体育館
	目的	あまり体を動かさない党機関の体力増進と地域の親睦、交流を図る	実施内容			冬季における住民の体力増進と、地区の親睦を深めるため地区対抗で実施。各地区2週間前から練習を実施する。 優勝:唐沢 準優勝:市場通り 3位:上野、NNK27		評価	【総括と今後の方向付け】 今年度も12チームの参加のもと開催できた。女性が多く参加できる大会になっている。今後も地区の交流のために開催していきたい。	
広報事業	広報座光寺		地区費	継続				4,589	実施内容参照	地区内
	目的	公民館事業に限らず地域全体の活動経過や取り組みの紹介、地区の歴史等を掲載することで、地域を知るため情報提供。	実施内容			公民館事業に限らず地域全体の事業や取り組みの紹介、座光寺に残っている遺跡や資源の説明を主に掲載。全戸配付 1700部発行 ◇年4発行(6月、9月、12月、3月)		評価	【総括と今後の方向付け】 地域活動の記録という側面もあるが、今後自分たちの地域はどうあるべきかなどの投げかけや、依頼記事ばかりでなく編集側の気持ちの入った取材記事を積極的に発信していく必要がある。次年度も読みやすく興味をひく広報編集に力を入れ、できるだけ大勢の人に見てもらえるようにしていきたい。	
広報事業	広報座光寺お知らせ版		地区費	継続				4,589	実施内容参照	地区内
	目的	座光寺の次月の予定をお知らせ版として集約し配布することで、情報の一本化だけでなく資源削減を図る。	実施内容			毎月月末に座光寺全体の次月の予定と、年4回発行の広報座光寺では記事に載らないものを紹介。全戸配付 1700部発行		評価	【総括と今後の方向付け】 複数枚の組合回覧を1本化し全戸配付しているため、情報が集約され見やすく、環境的にも紙の無駄を省けるというメリットがある。また、回覧情報を全戸配付することで手元に残り、毎月発行のため旬な情報をいち早く届けられるというメリットはある。作成主体について今後検討していく必要もあると考えられる。(現在は主事)	
育成事業	座光寺の子どもを語る会連絡会		地区費	継続	2				5月7日 3月23日	座光寺公民館
	目的	座光寺の子ども健全育成について小学校・PTA・地域の三者が連携し、現状の把握と課題に対する取り組み及び報告を行う。	実施内容			・学校・家庭・地域3者の代表者が集い健全育成に関する活動の報告と現状・課題について情報共有を行うために年に2回開催。 ・座光寺の子どもたちに関する課題解決を図るため、本会を通じて各種団体の連携や活動内容の見直し等の調整を行う。 ・公民館育成部事業「麻績の里体験学校」の運営に対する協議及び研究		評価	【総括と今後の方向付け】 本会が発足して今年で5年目となるが、役職で集まっているためメンバーが毎年一新されてしまう。そのため、本会の主旨が理解されていないこともあり、各団体からの活動報告をする場と捉えているメンバーも少なくない。来年度は自治会や小学校との協議を踏まえ、組織体制や運営方法の見直しを検討する必要がある。	
育成事業	麻績の里体験学校 子ども桜ガイド		市・地	継続	4			490	実施内容参照	実施内容参照
	目的	座光寺が誇る「舞台桜」「舞台校舎」の学習を子ども達が行い、桜の観光者にガイドすることで、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	実施内容			座光寺の宝「舞台桜」や自然・史跡・施設について学習し観光客にガイドを行う。地域学習だけでなく、コミュニケーションの向上や地域貢献に対する意識化につなげる。また、小学校だけでなく中学生にも参加してもらうことで、参加者内で先生・生徒の関係構築を築きお互いの学習意欲を高める事業とする。 学習会 3/24 会場:竹の間 内容:「舞台桜及び座光寺の自然・史跡・施設」について 講師:小林正明 手作り案内看板作製 3/31 会場:座光寺公民館 ガイド期間 4/12~13 会場:舞台桜前		評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は小学生が13名、中学生が9名参加した。小学生が中心となって観光客にガイドを行い、中学生は小学生の補助やアドバイス役を主に行った。今年も多くの方にガイドができ、観光客からの感謝の言葉や笑顔で、子どもたちにとって良い経験ができたと感じる。遠方の館顧客の方からの感謝の手紙をいただくなどの反響もあった。	

座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 お茶摘み体験学習	市費	新規	1	23	23	4,589	5月25日	実施内容参照
	<p>目的 お茶摘み体験を通して、地域の農産物の1つであるお茶の摘み方と加工方法を学びお茶摘み作業を継承するとともに、農業の素晴らしさを知り農業への関心を持たせる。</p> <p>実施内容 麻績の館周辺の植物を管理している方から、ここのお茶の木は非常に良いが利用されていないのもったいないと話があった。昨年は小学校6年生の地域学習の一環として取組んだが、今年度は麻績の里体験学校として区内全体を対象にして開催した。お茶を摘みホットプレートで焙り、お茶を飲んだ。 講師：増澤武雄(NPO法人日本茶の会副理事長) 会場：麻績の館及び周辺 参加者：子ども16名、大人7名</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 今年度から麻績の里体験学校として新たに加わった。普段何気なく目にしていたお茶の葉を摘んで、そこからお茶を作り飲むという経験は、子どもたちにとっても新鮮で興味深い体験だったように感じる。来年度は、麻績の里体験学校だけでなく、小学校とのタイアップでの開催も考えていきたい。</p>								
育成事業	麻績の里体験学校 ホタルを見る会	市・地	継続	1	43	43	4,589	6月28日	中河原会所及び周辺
	<p>目的 子どもたちを対象にほたるの観察を行い、地域の様々な人々との交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。</p> <p>実施内容 座光寺のほたる分布状況、環境による繁殖状況の違いやほたるの生態を学習した。共催団体水辺の広場委員会のホタル保護や地域の資源を活用した活動についても学習し、終了後に現地でもホタル観察を行った。 学習会 講師：小林正明、水辺の広場委員会 会場：中河原会所 ホタル観察 会場：白山下 参加者：子ども28名、保護者15名</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 ホタルの繁殖変化や生態を学習することで、環境に対する意識を高めることができた。また、地元の講師やほたる繁殖活動を行っている団体と共催することで、地域活動としてホタルの保護・繁殖を行っていることを知る機会にもつながった。</p>								
育成事業	麻績の里体験学校 水辺の広場で遊ぶ	地区費	継続	1			490	7月20日	水辺の広場
	<p>目的 子どもたちを対象に開催し、親子のふれあいや地域内外の様々な人々との交流、を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。</p> <p>実施内容 水辺の広場委員会と共催で実施。午前中は水生生物学習会、飯盒体験、水鉄砲作り、午後は川遊びを行った。また、小さな子供たちには小プールを用意し金魚のつかみどりを行った。昼食に飯盒で炊いた米をカレーライスにして食べた。 水生生物学習会 講師：小林正明 参加：子ども44名 大人17名</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 水辺の広場委員会との合同会議を事前に重ねることで、お互いの開催目的や企画内容を協議したうえで開催した。健全育成部としては、午前中に水生生物学習会を行った。結果、今年も多くの子供達が参加し楽しんだ。来年度も、子どもに「何のため」「どのような体験」を提供するのか検討していきたい。</p>								
育成事業	麻績の里体験学校 星空観察会	地区費	継続	3			4,589	9月6日 12月6日 2月14日	小学校及び座光寺公民館
	<p>目的 星空観察を通じて、科学に親しむ心を育てるとともに、宇宙に関心を持たせ、将来の夢を与える。また、星空が見える自然環境の素晴らしさを実感し、自然を守る心を育てる。</p> <p>実施内容 星空観察を通じて、科学に親しむ心や自然環境の素晴らしさを実感してもらう機会を提供。 1回目：9月6日 講師：奥村茂実 当日雨のため、屋内での学習会となった。参加：子ども16名 大人12名 2回目：12月6日 当日雪のため、中止 3回目：2月14日 講師：奥村茂実 長寿の星カノープスや木星の観測に成功。子供に人気の企画にすることができた。参加：子ども16名 大人9名</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 今年度から麻績の里体験学校として新たに加わった。天候の影響を直接受けしもう企画のため、期待した通りに実施することが難しいが、子どもには非常に人気の高い企画となった。また、2月のカノープスの観察は公民館の屋内から可能なことが判明し、恵まれた観察環境があることが分かった。今後も開催を検討していきたい。</p>								

座光寺公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 子ども科学教室	市・地	継続	1	12	12	490	11月22日	座光寺公民館
	<p>目的 子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を身近に感じてもらうだけでなく地域の様々な人たちとの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。</p> <p>実施内容 おもしろ科学工房の出前講座を利用し、モデルロケットの打ち上げ実験やサイエンスマジックショーを行う。 サイエンスマジックショー「静電気の不思議な世界」 おもしろ工作 「モデルロケット」5年生～6年生、「ビニール凧」だれでもOK 指導者：おもしろ科学工房 参加：子ども9名 大人3名</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 科学サイエンスショーやおもしろ工作など、大人も充分に楽しめる内容の企画で、非常に充実した体験を行えた。しかし、参加者の減少傾向は続いている。この事業に限らず育成事業が一般的に減少傾向にあるため、企画内容や実施方法を再検討する必要がある。小学校と連携しての開催も検討していきたい。</p>								
育成事業	麻績の里体験学校 まとめの会	地区費	継続	1	25	25		1月17日	座光寺公民館
	<p>目的 体験学校参加者を対象に一年間の体験の感想をもらい次年度への展開につなげる。</p> <p>実施内容 体験学校参加者を集ってもらい、写真のスライドショーを見ながら一年間の活動を振り返り、反省や感想を出し合ってもらい、次年度への事業展開につなげていく。その後もちつき体験を併せて行った。 参加：子ども20名 大人5名</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 今年度は、会場を小学校から公民館に移し、同様の開催とした。体験学校の振り返りをスライドショーで行うだけでなく、体験時の写真を模造紙に張り感想発表を行った。併せてもちつき体験を行った。</p>								
育成事業	ふるさと探検	市・地	新規	1	7	7	490	9月20日	耕雲寺～元善光寺
	<p>目的 子どもを対象に座光寺の歴史や文化や自然を学習し地域の愛着心を育む</p> <p>実施内容 地域の歴史や文化を学ぶ機会の提供として開催。小学校をスタートして、耕雲寺、麻績学校校舎、元善光寺などを見学した。 参加：子ども4名 大人3名</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 今年度も参加が少なかった。しかし歴史的な財産が多ことが座光寺の特徴の一つとして挙げられるため、今後も継続的に行う必要がある。しかし、子どもに興味を抱かせることは難しいため、親子で参加したいと思える企画を検討していく必要がある。</p>								
育成事業	麻績の里体験学校 さとやま体験	地区費	新規	2			4,589	実施内容参照	麻績の里体験林
	<p>目的 子どもたちを対象に山林体験を行い、地域の様々な人たちとの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。</p> <p>実施内容 地域の人材や資源を生かした様々な体験活動の場として里山体験を開催。身近にある自然の知らないことや普段体験できないことを子どもや親に体験してもらうために実施する。 第1回 8/23 森の木を切る体験 会場：麻績の里体験林 ※雨のため中止 第2回 3/22 キノコを育ててみよう 会場：麻績の里体験林 講師：麻績山ぶどうの会</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 地元を知ってもらいたい、自然の中で体験してほしいという主催者の意思とは裏腹に、参加者は非常に少ない。主催者と親の意識は同じと考えると、親も一緒に参加できる内容を企画することで多くの参加者の体験に繋がると感じる。</p>								
企画事業	座光寺地域づくりフォーラム	地区費	継続	1	46	46	4,589	実施内容参照	座光寺公民館
	<p>目的 地区住民を対象に、地域の現状と課題を出し合い、より良くするにはどのようにすべきか学習する。</p> <p>実施内容 地域課題に対して地域全体で取組めるよう「知る」「考える」「実行する」につながる事業展開を検討して開催。フォーラムの運営は公民館運営委員会が行う。 1/31(文化祭1日目)「活かそう！ふるさとの宝 ～小布施に学ぶまちづくり～」 小布施町のみなさんからの話題提供をいただいたあと、よりよいまちづくりに向けての意見交換を行った。 参加：小布施町5名 住民：46名</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 今年度もフォーラムは、「活かそう！ふるさとの宝 ～小布施に学ぶまちづくり～」と題し、小布施町の方(まちづくり委員会会長、オープンガーデンオーナー等)から話題提供をしていただき、そこからふるさと座光寺をもう一度見つめなおし、リニアを迎える今より良いまちづくりに向けた意見交換を行った。参加者からはとても良い内容だったという評価をいただいたが、参加者が想定していたよりも大幅に少なくなりました。PR方法を工夫し、幅広い年代の多くの方に参加してもらえるようにしたい。</p>								

松尾公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	1歳児学級		市・地	継続	22	572	85	143	5月1日～3月12日	松尾公民館他
	目的	1歳児とその保護者を対象に、親子のふれあい、親同士の交流を図る	実施内容	開催間隔:1歳児を2学級に分け、各学級毎月1回実施 内容:親子でのふれあい遊び、成長の記録～手型・足型～、歯、食事に関する話など 場所:松尾公民館他 運営:保健師、担当保育士主導			評価	【総括と今後の方向付け】 登録も、参加者数も多く、毎回の学級を賑やかででき、内容もふれあい遊びなどの親子のふれあいの機会を提供したり、子育てにおいて必要な知識の学習機会を提供したり充実した内容で行うことができた。来年度も保健師、保育士と内容等を検討し充実したものにしていきたい。		
学級・講座	2・3歳児学級		市・地	継続	24	554	86	276	5月7日～3月11日	松尾公民館他
	目的	2・3歳児を持つ親を対象に、親同士の交流、親子のふれあい子供の集団意識の育成を図る	実施内容	開催間隔:年齢ごとに学級を設け、毎月1回実施 内容:親子リトミック、公園へおでかけ、運動会、おもちゃ作りなど 場所:松尾公民館他 運営:保健師、担当保育士主導			評価	【総括と今後の方向付け】 親子リトミックなど、親子のふれあいの機会提供や、グループでの活動による集団意識の育成などを行うことができた。来年度も保健師、保育士と内容を検討してより充実したものにしていきたい。		
学級・講座	ラフティング体験教室		地区費	継続	1	23	23	13,065	7月19日	天竜川
	目的	住民(特に小学生親子)を対象に、体験を通じて天龍川や周辺環境への意識向上を図る	実施内容	内容:ラフティング体験 講師:アルプスぼうけん組楽部			評価	【総括と今後の方向付け】 公民館事業として定着し、昨年に続いて参加される方もいた。当日は天候が心配されたが、講師の適切な指導もあり、全員が無事にラフティングを楽しめることができた。参加者からは次年度も継続の希望がある。天竜川を体感できる貴重な機会であるので次年度以降はより一層の参加者の拡大を図りたい。		
学級・講座	親子パン作り教室		市・地	継続	1	45	45	140	2月4日	松尾公民館
	目的	幼児とその親を対象に、料理の楽しさを知るとともに食事への関心向上を図る	実施内容	内容:パン作り 講師:三浦宏子さん(八幡町在住)			評価	【総括と今後の方向付け】 乳幼児学級に参加している親子を対象に行った。このことにより、親子のふれあいの機会の提供とパン作りの技術の学習の機会の提供ができた。参加者からも大変好評で複数回の実施を希望する声もあった。来年度も保健師や保育士と検討して開催したい。		
学級・講座	日中文化交流会		市・地	継続	1	80	80	957	3月1日	常盤台集会所
	目的	地区に在住の中国籍、日本籍住民を対象に、相互理解と交流の深まりを図る	実施内容	内容 ①アトラクション(常盤太鼓「心」による演奏、松尾小学校人形劇クラブによる公演) ②日中それぞれの踊りの披露、懇談会 ③交流会(日中それぞれの料理を調理し食べる) 運営:主催 松尾公民館及び常盤台区 協力 飯田国際交流推進協会			評価	【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き開催した。今年度は、食文化による交流のほか、アトラクションとして常盤太鼓の披露や松尾小学校人形劇クラブによる公演を行った。また、常盤台区の文化祭と共催することで、より多くの方々に参加していただけるよう公民館と常盤台区で協議を重ねた。当日は日本と中国の方との交流が図られ、友好的な雰囲気をつくることができた。来年度も常盤台区と協議しながら、内容を検討し、より充実した交流会にしていきたい。		
学級・講座	松尾探検隊		市・地	継続	1	20	20	13,065	11月9日	松尾地区内
	目的	住民を対象に、地域の史跡、文化、自然の知識向上と、愛着心の向上を図る	実施内容	内容:弁天橋から堤防道路沿いに南下し毛賀沢川橋まで歩き、弁天公事について講師の説明を受けながら同時に思いを馳せた。 講師:松尾史学会 秦野善彦会長			評価	【総括と今後の方向付け】 天候の影響もあり、参加者が少なく残念であった。地域の歴史や文化を学んでもらう機会であるため、小学生が参加したくなるように検討していきたい。併せて松尾史学会と相談しながら実施をしていきたい。		

松尾公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	男踊り教室		市・地	継続	24	192	10	13,065	4月10日～3月26日	松尾公民館他
	目的	住民を対象に、運動不足の解消と共通の趣味をもつ仲間作りを図る	実施内容	内容:男踊り(佐渡おけさ、越中おわら節) 踊ってみよう会、文化祭芸能発表会に出演 講師:池田悠貴鳳			評価	【総括と今後の方向付け】 参加者も増加し、年間を通じて踊りの技術を高めるとともに参加者の交流を深めることができた。文化祭や踊ってみよう会の参加により、地区内への周知が図られ参加者が増加するよう考えていきたい。来年度も初心者が踊りを始めるきっかけとして教室を開催していきたい。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	探勝会		地区費	継続	2	76	38	13,065	6月27日、11月5日	名古屋、京都
	目的	住民を対象に芸術・文化・歴史に触れ、文化意識の向上を図る	実施内容	内容:6月27日 有松鳴海絞会館、ポストン美術館 11月5日 銀閣寺、妙心寺他			評価	【総括と今後の方向付け】 地区の方の意向を聞きながら、内容を検討した。この事業の実施によって、地域住民の文化度の向上につながり、文化祭などの出展にもつながっている。参加者からは非常に好評であるので、さらに周知方法を検討しより多くの人に芸術に触れる機会を提供していきたい。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	松尾サイエンススクール		市・地	継続	10	789	130	13,065	4月16日～1月31日	松尾ミニ体育館他
	目的	住民(特に小中学生)を対象に、科学に対する興味や関心向上を図る	実施内容	内容:サイエンスショー(サイエンスマジックショー、大気圧の実験、空気の実験) 製作(紙飛行機、吹き矢、偏光板ステンドグラス、リニアの実験、ミラーボックスを作ろう、CDコマ、モデルロケット) 運営:松尾サイエンス スタッフ(23名) 場所:松尾公民館敷地内ミニ体育館他 協力:おもしろ科学工房(生涯学習・スポーツ課)、育成会			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度も分館への出張スクールも行われ、活動が地区内全域に広がっている。スタッフも前向きに取り組む一方、積極的に若い方をスタッフに勧誘し、スタッフの担い手育成も進んでいる。今後も活動内容が充実して行くと思われる。来年度以降はよりスタッフ主体で計画し、公民館がサポートするような体制にしていきたい。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	地域いきいきセミナー		市・地	継続	5	180	40	13,065	5月25日、7月6日、7月20日、12月21日、1月18日	八幡町公会堂他
	目的	分館単位の住民を対象に、分館活動の活性化を図る	実施内容	内容:ワイン講座(久井・5/25、寺所・1/18) 講師:麦島泰彦 認知症について(毛賀・7/6) 講師:木下守 最期まで輝く人生のために(八幡町・7/20) 講師:二木はま子 文化講演会(水城・12/21) 講師:大蔵正明			評価	【総括と今後の方向付け】 松尾公民館と分館の共催で行われ、分館活動の活性化に繋がっている。来年度も分館活動の活性化に繋がるような形態で実施していきたい。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	水引教室		市・地	継続	1	140	140	140	3月12日	松尾公民館
	目的	松尾小学校4年生を対象に郷土の伝統芸能の学習、体験を通じて、郷土産業への関心向上を図る	実施内容	内容:小学校4年生による水引細工の作成(淡路結びのしおり) 講師:飯田水引協同組合			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度も小学校の地元産業を学ぶ授業のきっかけとして開催した。小学生、担任の先生からは非常に好評であり、地元産業を知ってもらうきっかけにもなっており、来年以降も引き続き開催していきたい。		

松尾公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	親子映画鑑賞会		地区費	継続	1	455	455	13,065	7月5日	松尾公民館
	目的	親子を対象に、コミュニケーションの機会増加を図る	実施内容	作品:怪盗グルーのミニオン危機一発 内容:感動アニメ映画 運営:文化委員会			評価	数量的成果(項目名と数値) 大変満足:77%、満足:17%、普通:6%、やや物足りない:0%、物足らない:0% 【総括と今後の方向付け】 今年度も文化委員と内容をしっかり検討し、選定した。当日は、過去最多の親子が来館し、鑑賞してもらえた。来年度も内容を吟味して実施していきたい。		
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2014		他会計	継続	5	833	367	13,065	8月8日～8月10日	松尾公民館他
	目的	住民を対象に、人形劇を通じて芸術の意識向上を図る	実施内容	会場:松尾公民館、新井コミュニティ消防センター、清水コミュニティ消防センター、毛賀区民会館、上溝集会所 運営:文化委員会、新井分館、清水分館、毛賀分館、上溝分館 上演劇団:Bタイプ2劇団、Cタイプ6劇団			評価	数量的成果(項目名と数) 大変満足:49%、満足:33%、普通:16%、やや物足りない:1%、物足らない:1% 【総括と今後の方向付け】 各会場とも工夫をし、主体的に運営がなされている。また、地区住民、劇人との交流も行われている。しかし、昨年度より会場数が1つ減ってしまった。アンケートでも地区内での上演を希望している声があることから、来年度は上演会場数を1会場でも増やしたい。		
文化事業	第12回松尾踊ってみよう会		地区費	継続	1	150	150	13,065	12月7日	松尾公民館
	目的	住民を対象に、相互の踊りを見て演じることで一層の技術向上を図る	実施内容	内容:舞踊、ダンス等様々な踊りに関する団体の発表会 運営:出演団体による実行委員会、当日運営には文化委員会が協力 参加:12団体、4個人			評価	【総括と今後の方向付け】 参加団体の当番制でプログラム編成等を行っている。当日は文化委員会の協力を得て開催している。参加者からは好評である。ただし、文化祭芸能発表会との区別がはっきりしておらず、その部分も検討しながら、来年度も開催していきたい。		
文化事業	年賀状展		地区費	継続	1	50	50	13,065	1月12日～2月1日	松尾公民館
	目的	住民を対象に身近な年賀状の展示を通じて、文化意識の向上を図る	実施内容	内容:公民館に送られた年賀状の展示 運営:文化委員会 協力:松尾郵便局他			評価	【総括と今後の方向付け】 応募点数が減り、募集に苦労した。文化委員による声かけも行っているがなかなか募集が増えないのが現状である。文化委員会で実施も含めて募集方法など検討していきたい。		
文化事業	松尾地区文化祭		地区費	継続	1	1,300	1,300	13,065	1月31日～2月1日	松尾公民館
	目的	住民を対象に、芸能発表や文化展を通じて、住民相互の交流を図る	実施内容	内容:文化展、芸能発表、立川談四楼落語会、ふれあい子ども広場、チャイルドシート無償提供、交通安全啓発ビデオ上映、テックレンジャーショー、松尾の食文化を訪ねる等 運営:文化委員会(主催:松尾まちづくり委員会) 協力:松尾小学校、緑ヶ丘中学校、婦人会、消防団、食生活改善推進協議会、育成会			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度はOIDE長姫高校のテックレンジャーショーや立川談四楼の落語会を行い、子どもから高齢者まで多くの年代が集える文化祭を実施した。緑ヶ丘中学生の実行委員も募り、若い世代の文化祭への参加を促進することができた。芸能発表会へは、32団体もの参加が得られた反面、文化展への参加団体は減少傾向にある。地区内へのさらなる周知を考えていきたい。		
文化事業	松尾地区成人式		市・地	継続	1	126	126	222	1月11日	松尾公民館他
	目的	新成人を対象に、式の企画・郷土の学習を通じて地元への愛着心の向上を図る	実施内容	内容:地域学習(市民運動会参加・取材を通しての地域学習) 式典(常盤太鼓祝打ち、主催者あいさつ、祝辞、成人代表あいさつ等) 祝賀会(新成人実行委員による企画、進行) 運営:新成人実行委員 場所:松尾公民館、シルクホテル 協力:文化委員会			評価	【総括と今後の方向付け】 新成人が主体的に計画し、当日は文化委員会の協力を得て運営されている。しかし、実行委員が少ないこともあり、新成人だけの計画では限界がある。来年度は文化委員会役員にも加わってもらい、松尾ならではの地域学習、成人式が行えるようにしていきたい。		

松尾公民館の事業報告

No.4

区分	事業名			予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	松尾地区市民運動会			地区費	継続	1	3,000	3,000	13,065	10月12日	松尾小学校校庭
	目的	実施内容	評価	内容:分館対抗による軽スポーツ、レクリエーションスポーツ他 運営:体育委員会(主催:松尾まちづくり委員会) 協力:松尾地区文化体育振興会 結果:総合優勝 明分館 総合準優勝 上溝分館 【総括と今後の方向付け】 今年度は、競技性よりも参加者が楽しめるようにと種目内容の変更を行った。その結果、地区民多くの参加があり盛大な運動会にすることができた。これほど多くの住民が一堂に会する事業はないので、来年以降も改善をしながら実施していきたい。							
体育事業	ニュースポーツ講習会			市・地	継続	1	71	71	150	5月11日	松尾小学校体育館
	目的	実施内容	評価	内容:ニュースポーツの体験会(囲碁ボール、キンボール、ペタンク) 講師:スポーツ推進委員、ニュースポーツ普及員 場所:松尾小学校体育館・校庭 数量的成果(項目名と数) 良かった:100%、改善点あり:0% 【総括と今後の方向付け】 キンボールが難しいという意見が多く聞かれたが、公民館の役員がルールを理解することができた。ニュースポーツを分館行事に取り入れるところも増えてきている。来年度も実施種目を体育委員と検討しながら実施していきたい。							
体育事業	分館対抗ニュースポーツ大会			地区費	継続	1	400	400	13,065	6月22日	松尾小、松尾公民館
	目的	実施内容	評価	内容:分館対抗によるニュースポーツ大会(ペタンク、囲碁ボール、キンボール) 運営:体育委員会 結果:総合優勝 明分館、準優勝 清水分館、新井分館 数量的成果(項目名と数) 良かった:88%、改善点あり:12% 【総括と今後の方向付け】 今年度は、雨天のためペタンクが中止となってしまったが、他の2種目は大変盛り上がった。特に新種目のキンボールはルールに戸惑う場面も見られたが、大変盛り上がった。今後も新たな種目を積極的に導入していき、地区内へのニュースポーツの普及を図りたい。来年はより多くの住民がニュースポーツに触れることができるように実施種目を体育委員と検討しながら実施していきたい。							
体育事業	分館対抗ふらば～るバレー大会			地区費	新規	1	140	140	13,065	11月23日	松尾小学校体育館
	目的	実施内容	評価	内容:分館対抗によるふらば～るバレー大会 運営:体育委員会 結果:優勝 城分館、久井分館 準優勝 常盤台分館、寺所分館 数量的成果(項目名と数) 良かった:80%、改善点あり:20% 【総括と今後の方向付け】 今年度より新たに実施された。比較的浸透しているニュースポーツのため、ルールに戸惑うこともなく、各分館で盛り上がり実施できた。来年度は、体育委員と実施方法等について検討しながら取り組む必要がある。							
広報事業	「まつお新聞」の発行			地区費	継続	4	200	12	13,065	7月1日、10月1日、1月1日、3月31日	松尾公民館
	目的	実施内容	評価	内容:まつお新聞を発行する(1回発行に付き4回会議実施) 発行部数:4,500部 印刷会社:龍共印刷 【総括と今後の方向付け】 公民館本館事業だけでなく、各区での行事やまちづくり委員会事業についても取材を行った。来年度は「まつお新聞」の縮刷版およびまちづくり委員会における広報誌も検討していきたい。							

松尾公民館の事業報告

No.5

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	農業体験食育講座「まけるな農園」		市・地	継続	8	176	36	777	3月30日～2月21日	松尾明の遊休農地他
	目的	小学生やその兄弟、親を対象に、農業、食事への関心の向上を図る	実施内容	内容:土起こしから農作物栽培、収穫、加工調理、試食を行う 栽培作物:ジャガイモ、大豆、サツマイモ、トウモロコシ、かぼちゃ、スイカ等 場所:H22より借用した遊休農地(松尾明)、松尾公民館 運営:総務企画委員会 協力団体:松尾農業振興会、JA			評価	【総括と今後の方向付け】 5年目となった、まけるな農園であるが、一連の農業体験、収穫物を利用した調理、食事、収穫祭でのミニゲームなど、自然とのふれあい、親子のふれあいの機会を提供することができた。しかし、年々参加者が減少しており、今後どのように進めていくか、関係者と協議が必要になっている。参加者にとって農業や食事への関心が高まるような工夫が必要と考える。		
企画事業	親子ふれあい教室		地区費	新規	1	19	19	777	11月2日	地区内、天龍村
	目的	小学生とその親を対象に、親子のふれあう機会の提供および参加者同士の交流機会の提供、ふるさと意識の醸成を図る	実施内容	内容:飯田線に乗って平岡ダムを見に行こう! 伊那八幡駅～平岡駅、平岡ダム見学 運営:総務企画委員会			評価	【総括と今後の方向付け】 昨年度の親子木工教室に替わる事業として実施した。親子のふれあう機会を提供するとともにふるさと意識の醸成を図ることを目的に、普段なかなか利用しない飯田線を利用して実施した。地元の魅力を感じるとともに参加者同士の交流が図られ、参加者から大変好評を得た。来年度も内容を検討しながら実施したい。		
企画事業	公民館役員研修会		市・地	継続	2	76	45	50	6月24日、11月12日	松尾公民館
	目的	公民館役員・分館役員を対象に、公民館活動への理解向上を図る	実施内容	内容:地域づくりを住民が担う意義(6/24) 講師:白戸洋松本大学教授 情報交換会(11/12)			評価	【総括と今後の方向付け】 数量的成果 とても良かった:48%、まあ良かった:17%、ふつう:28%、ややわか (項目名と数)りにくい:7%、わかりにくい0% 【総括と今後の方向付け】 今年度は学習会と情報交換会という形で2回実施し、公民館について学んでもらった。特に情報交換会は刺激になったようである。 来年度以降も様々な内容で地域における公民館の担う役割について研修を開催し、活発な分館活動に繋がるようにしていきたい。		
合同事業	3地区合同バレーボール大会		地区費	継続	1	100	100	13,065	9月28日	松尾小学校体育館
	目的	女性を対象に、健康維持、体力増進、チームを越えた交流を図る	実施内容	内容:各地区に登録するチームによるリーグ戦 参加チーム数:松尾4チーム、下久堅2チーム、竜丘1チーム 運営:実行委員会 結果:総合優勝 松尾バレーボール連盟(水城)、総合準優勝 ナイスミドルズ			評価	【総括と今後の方向付け】 緑中学区3地区のみの参加となった。運営は自主的に行われており、参加者からも気楽に参加できる大会として継続を望んでいる。これらを踏まえて、来年度以降参加チームの増加を検討しながら、開催していきたい。		
その他	松尾還暦の会		地区費	継続	1	63	63	157	5月24日	鳩ヶ嶺八幡宮他
	目的	地区内の還暦になる方々を対象に、節目となる機会の式典実施等を通じて、同年同士の交流を図る	実施内容	内容:鳩ヶ嶺八幡宮での式典、記念写真撮影、祝賀会 運営:該当者による実行委員会 場所:鳩ヶ嶺八幡宮、マリエール飯田			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は手作りの還暦の会を基本に実行委員会で協議を重ね実施する事ができた。還暦を機に同年代が集まり、再び繋がる良い機会であるので引き続き実行委員会体制で行ってきたい。		

下久堅公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
◆ 学級・講座	乳幼児学級ぽっかぽかいちご(0・1歳)	市費	継続	11	250	30	60	実施内容参照	下久堅公民館
	目的	0・1歳児と親を対象に、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられる事業展開を図る		実施内容	乳幼児学級ぽっかぽか(いちごグループ 0・1歳)は、0・1歳の乳幼児とその保護者を対象に、子育てに対する学習、体験、交流を通じて育児に関する知識を習得するとともに、子育てに対する悩みを軽減し安心して子育てができることを目的に開催する。下久堅保育園長、地元スタッフ、保健師、公民館主事が連携し、実施する。 【開催概要】 ①5/26 開講式・手形足形作り・図書分館紹介 ②6/17 わらべ歌 ③7/15 簡単おもちゃ作り ④8/6 人形劇鑑賞 ⑤9/25 お医者さんの話 ⑥10/14 ブチ遠足 ⑦11/19 簡単おやつ作り ⑧12/9 合同クリスマス会 ⑨1/20 親子ふれあい遊び ⑩2/24 歯科衛生士の話 ⑪3/4 閉講式・手形足形作り			評価	【総括と今後の方向付け】 開催通知の作成や当日の運営など、参加者の主体的な姿勢が見受けられた。より主体的な学級とするためカリキュラム作りから参加者主体によるものとした。そのため、学びという観点から考えるとやや物足りないものとなったかもしれないが、参加者ひとり一人が考えをもって学級に望むことができた。今後も、地区内の託児指導者、保育士、保健師、公民館が連携し、参加者の主体的な学級運営を促しながら、「基本的な生活習慣の獲得」を図るべく、学級内容の充実を図っていききたい。
◆ 学級・講座	乳幼児学級ぽっかぽかあひる(2・3歳)	市費	継続	11	200	17	50	実施内容参照	下久堅公民館
	目的	2・3歳児と親を対象に、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられる事業展開を図る		実施内容	乳幼児学級ぽっかぽか(あひるグループ 2・3歳)は、2・3歳の乳幼児とその保護者を対象に、子育てに対する学習、体験、交流を通じて育児に関する知識を習得するとともに、子育てに対する悩みを軽減し安心して子育てができることを目的に開催する。下久堅保育園長、地元スタッフ、保健師、公民館主事が連携し、実施する。 【開催概要】 ①5/29 開講式・親子遊び ②6/12 電車で遠足に行こう ③7/16 保育園で水遊び ④8/6 人形劇鑑賞 ⑤9/25 お医者さんの話 ⑥10/30 おやつ作り ⑦11/11 やきいも大会をしよう ⑧12/8 合同クリスマス会 ⑨1/14 絵本の会 ⑩2/25 いちご狩り ⑪3/5 閉講式・手形足形をとろう			評価	【総括と今後の方向付け】 開催通知の作成や当日の運営など、参加者の主体的な姿勢が見受けられた。より主体的な学級とするためカリキュラム作りから参加者主体によるものとした。そのため、学びという観点から考えるとやや物足りないものとなったかもしれないが、参加者ひとり一人が考えをもって学級に望むことができた。今後も、地区内の託児指導者、保育士、保健師、公民館が連携し、参加者の主体的な学級運営を促しながら、「基本的な生活習慣の獲得」を図るべく、学級内容の充実を図っていききたい。
◆ 学級・講座	親子体験学習	市費	継続	1	320	320	320	5月31日(土)	下久堅小学校
	目的	子どもとその親を対象に、地域の人材や素材の大切さと地域を見つめ直す機会作りを図る		実施内容	小学校との連携による事業。参観日の放課後の時間を利用し、地域の方々に講師とする親子体験講座を開催する。 主な内容は、おやつ作り、ニュースポーツ、料理づくり、昔のおもちゃづくり、科学実験教室、フラワーアレンジメントなど。			評価	数量的成果 参加して大変良かった・良かった 100% 【総括と今後の方向付け】 地育力の向上を目指す中、地域の持つ人的資源を活用した今回のような体験事業が重要視されてくる。現在の方法は、一度に多くの講座を全員で実施している。今後はこの講座内で特徴的なものを1つの講座として確立し、より深く地域を見つめ直す機会作りを図りたい。

下久堅公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
◆ ◇ 学級・講座	親子でクッキング講座(料理教室)		地区費	継続	1回	31	31	3,123	8月3日(日)	下久堅公民館
	目的	親子を対象に料理を行いながら交流を図る。エコクッキングというスタイルで実施。	実施内容	NPO法人みんなのエコイク推進協会(※)、NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師との協力事業。親子で環境や家計に優しいエコクッキングを実施する事で、省エネやゴミの減少など環境意識を高める事も含めながら親子で楽しく調理を実施した。 ※平成26年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金助成事業「うちエコ!ごはんアクション2014」の一環のイベント				評価	数量的成果 参加して大変良かった・良かった 100% 【総括と今後の方向付け】 環境教育に取り組む2団体のスタッフと講座を通しての親子が交流する事ができ、家庭で楽しく取組む事の大切さを感じてもらった良い機会となった。地元である山法師と小学校との食育連携は今後も予定されているため、さらに環境意識を高める機会を増やしていきたい。	
◆ ◇ 学級・講座	クリスマスお楽しみ会		地区費	継続	1	50	50	3,123	1月25日(日)	下久堅公民館
	目的	地区内住民を対象に、地区住民で構成する団体を知ると共に世代間の交流を図る	実施内容	図書館との共催で実施。公民館の新築の都合で、「新年、新館おめでとう」に変更して1月開催とした 紙芝居・人形劇などを通じて親子や参加者の交流を図った。内容は以下の通り。				評価	【総括と今後の方向付け】 全ての演目を地域住民が行った催しであった。大人も子どもも一緒になって楽しむ機会となった。今後も継続して行っていきたい。	
◆ ◇ 学級・講座	ひさかた村塾		市・地	継続	2	50	25	3,123	7月29日(火)、9月18日(木)	下久堅公民館
	目的	地区民を対象に、地区文化の発掘・保存及び地区民の文化水準の向上を図る	実施内容	①社会教育団体や地域団体を参集して、団体活動の紹介や日頃の活動を通して、地域や公民館に対して思う事などの意見交換を行った。 ②地域ブランド講座として、市役所関係課担当者や地元の野菜ソムリエや生産者団体の事例紹介を行い、意見交換を行った。 【講師】 観光課:北原太志郎主事、農業課:矢澤愛子主事 野菜ソムリエ:殿倉由起子さん、飯田OIDE長姫、森岡強先生 広報情報課:筒井文彦係長 柿野沢営農組合:滝沢豊組合長				評価	【総括と今後の方向付け】 各種団体の情報交換では、それぞれの活動内容が参考になったという感想や、意見交換が行われ、こういう機会を定期的にとり参加者からの要望がだされた。ブランド講座も初めての試みであったが、参加者からは、知らない事例を聞いてとても参考になったと好評であった。様々な分野の関係者を集めての話題提起と情報交換によるきっかけづくりとしての開催であったが、今後はさらに連携を図れる形で講座から事業化への展開を図りたい	
◆ ◇ 学級・講座	下久堅地区新年の会(ひさかた村塾)		市・地	継続	1	70	70	3,123	1月18日(日)	下久堅公民館
	目的	地区住民を対象に、地域文化や歴史に触れる機会として開催	実施内容	下久堅地区まちづくり委員会と共催で開催している恒例行事。 新春の催しとして、地域住民で「下久堅の明日を語り合う」をテーマに「新春の講演会」を開催。 提案者:知久まちづくり委員会会長、平沢村塾塾長、殿倉氏(野菜ソムリエ) 提案後に参加者によるディスカッションを公民館長が進行で実施				評価	【総括と今後の方向付け】 例年、講師を招いての講演会だったが、今回は意見交換を重点として企画。提案者に若手農業者をキャストした他に、成人者や消防団の参加も呼び掛け若者の参加も促した。新しい公民館という事もあり、前年度より参加者が多く、意見交換も盛り上がった。この方式で来年も実施を検討して、さらに多くの住民が集い、語る場としていきたい。	
◆ ◇ 学級・講座	地区歌講座		市・地	新規	1	17	17	3,123	2月24日(火)	下久堅公民館
	目的	地区住民を対象に地区歌を学ぶ機会として開催	実施内容	地区歌の新しいマスターCDを製作する事に伴い、そのCDの歌を担当した歌手と編曲者を講師に地区歌に親しむ講座を開催する。				評価	【総括と今後の方向付け】 地区歌を親しむ事と合わせて、コーラス活動への展開にもつなげられる良い機会となった。ふるさと意識の醸成をテーマとして、活動を継続して、次年度文化祭等での発表などにつなげていきたい。	

下久堅公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
◆	ひさかた和紙講座		市費	継続	7	240	30	3,123	実施内容参照	下久堅公民館 他	
◇	学級・講座	目的	実施内容		この地の特色である「ひさかた和紙」を再認識し、保存会の新たな担い手の育成を図る。 【実施概要】 第1回 5/20 トロロアオイの種まき体験 第2回 6/27 楮の芽かき作業、紙すき講話 第3回 11/27 楮の収穫、皮むき体験 第4回 12/3.10.17 1/30 たくり作業体験 第5回 12/7 手漉き和紙用具講座 第6回 2/22.26、3/1 紙漉き体験 番外 ひさかた和紙オブジェ制作作業(新公民館展示用)			評価	【総括と今後の方向付け】 ひさかた和紙の認知を目的に講座を開催した。魅力を知ってもらい、保存すべき伝承文化であることを認識されることも期待した。座学より体験活動を重視し地区内に意識が広がるよう企画した。来年度についても引き続き実施し、地域全体の盛り上がりにつなげるようにしたい。		
◆	からだケア教室		地区費	継続	23	372	16	3,123	毎月2回 第1・第3金曜日の午前中	下久堅公民館	
◇	学級・講座	目的	実施内容		高齢者でも無理なく実施できるストレッチ体操を基本とする健康づくり教室。月2回のペースで開催。 講師:村沢由美子先生			評価	【総括と今後の方向付け】 下久堅は坂道が多いため、膝の痛みに悩んでいる方が多いという問題に対応するために開設し、数年が経過する。参加者も農閑期を除けば教室への出席率も高く、事業継続を望む声も多い。 次年度以降も事業を継続していきたい。		
◆	ヨガ・ストレッチ教室		地区費	継続	25	278	12	3,123	毎月2回第2・4水曜日の夜間	下久堅公民館	
◇	学級・講座	目的	実施内容		自分の体力や柔軟性に合わせて誰でも無理なく参加できるような形で開講。ヨガ・ストレッチを通じて自分の心や体を見つめ、呼吸法により全身に気をめぐらすことにより、体の中から元気になっていく効果がある。 講師:中塚裕佳里先生			評価	【総括と今後の方向付け】 子どもから高齢者まで幅広い年代の参加があり、出席率も比較的高い。日常的な健康づくりの場としても効果的であり、参加者からの評価も高い。 今後も、参加者の意向を確認しながら継続していきたいと考えている。		
◆	健康ウォーキング講座		0円	新規	1	8	8	3,123	11月8日(土)	下久堅公民館	
◇	学級・講座	目的	実施内容		地元スポーツ推進員と保健師を講師に、ウォーキングの基礎知識講座や体力測定を実施し、地区内のコースで実践を行う事で、ウォーキングによる体力増進や健康づくりの意識を高め普及を図る。			評価	【総括と今後の方向付け】 初の試みであったが、翌週にひさかたウォーキングもあり、参加者が少なかった。しかし、スポーツ推進員が積極的に企画し、保健師との連携で実施出来た事で、内容は充実したものであった。他の健康事業を絡め展開が図れるよう検討していく。		
◆	家計に優しい省エネ講座		市費	新規	1回	17	17	3,123	1月30日(金)	下久堅公民館	
◇	学級・講座	目的	実施内容		NPO法人おひさま進歩を講師に招き、家計に優しい省エネ学習会を実施する。 内容:家庭で使われる電気製品の消費電力クイズや、省エネ方法の説明を受けるなどの学習会を実施。			評価	【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会環境保全委員会との共催により開催し、主に関係者が参加しての勉強会となったが、身近な家電製品の工夫による省エネ座学という事で、参加者には好評であった。今回の連携を深め、環境学習の企画を検討し、参加者の増加と環境意識を高める事を目指して次年度につなげていきたい。		

下久堅公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとコンサート		市・地	継続	1	100	100	3,123	7月20日(日)	下久堅公民館
	目的	地区住民を対象に、すばらしい音楽を身近に感じることを図る	実施内容	公民館委員会文化部が中心となり、地区住民がすばらしい音楽を身近に感じる機会として実施。演奏者は、aru企画を通じてサクソフォーン四重奏団「Saxophone Quartet 桜」に依頼する。下久堅小学校金管バンドとの合同演奏も行う。なおコンサート終了後に、演奏者との交流の機会をつくる。			評価	数量的成果 参加して大変良かった・良かった 100% 【総括と今後の方向付け】 来場者の評判は良く、有意義な時間が過ごせたものと思われる。下久堅小学校金管バンドの参加・ドリンクの無料配布を行った事も良かったと思う。		
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2014		地区費	継続	1	891	891	3,123	8月5日(火)～10日(日)	下久堅公民館 他
	目的	地区住民を対象に、人形劇人と交流しながら、共にフェスタをつくり、地域の文化の高まりを図る	実施内容	下久堅地区では、以下の6会場で公演する。 ①下久堅公民館 劇団名:ばびぶべぼ劇場 ②下虎岩センター:とうふねこ座、人形劇団おまけのおまけ ③虎岩交流センター:人形劇ジャビジャビ、会染母んばー ④知久平研修センター:下久堅小4年明組座、ポポルの一座 ⑤南原交流センター:おしゃべり劇場ぼっけ、ママさん金魚 ⑥柿野沢区民センター:コロポックル、にんぎょうげきだんつきほたる			評価	【総括と今後の方向付け】 各会場の運営は、保育園保母や分館役員が担っており、会場運営なども会場関係者が主体的に関わっている。また、フェスタに併せて開催する催しや劇人を交えた交流会も、各会場の特色がでている。今後も地区にどれだけ定着しているかといった視点も重要視しながら運営にあたり、どのような取組ができるのかも検討していきたい。		
文化事業	ひさかたウォーキング		市・地	継続	1	55	55	3,123	11月16日(日)	地区内
	目的	地区住民を対象に、地区内の史跡、自然、文化を知る機会として開催	実施内容	「ひさかたウォーキングマップ」を活用し、世代間交流、健康増進、また地区内の史跡、自然、文化を知る機会として継続的に実施している。今年度は三遠南信自動車道建設現場もコースにして、建設業者からの説明も受けながら、これからの下久堅を考える機会になる要素も含めながら、親子、世代間交流に取り組んだ。講師:三遠南信連絡協議会、宮内博司氏			評価	【総括と今後の方向付け】 三遠南信自動車道建設現場をコースに加えた事で、例年より多くの参加があり、地区外からの参加や問合せもあった。食生活改善グループが提供してくれた豚汁も好評であった。多く関係者と連携する事で、視点を変えたコースと内容にできた。		
体育事業	分館対抗ソフトボール大会		地区費	継続	1	150	150	3,123	6月1日(日)	下久堅運動場
	目的	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る	実施内容	分館対抗方式でのソフトボール大会。ルールに女性・60代の参加を決めているため、性別世代問わず交流を行った。			評価	【総括と今後の方向付け】 女性2名及び50歳以上2名の出場枠を設けているため幅広い年齢層からの参加がある。また、複数のチームを出場する分館もあり、開催の意義は大きい。一方で誰もが楽しめる競技ではないため、参加する人が決まってくるように思われる。また、分館対抗にこだわりすぎないやり方も模索していく必要があると思われる。		
体育事業	下久堅地区レディースバレーボール大会		地区費	継続	1	60	60	3,123	7月6日(日)	下久堅小学校体育館
	目的	地区内女性を対象に、親睦交流・健康増進を図る	実施内容	地域の女性の親睦交流と健康増進を目的に開催する。飯田市大会の予選を兼ねて実施。(4チームが参加)			評価	【総括と今後の方向付け】 各チームとも日頃から練習を重ねているため、非常に白熱した大会となった。女性同士の繋がりといった観点からみても大切な機会となっている。審判については、リーグ戦に併せて講習会を実施し、当日は審判についても自主的に行った。今後も公民館として活動を支援しながら、自主的な運営を継続していけるよう協力していきたい。		

下久堅公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
◆	常会対抗盆野球大会		地区費	継続	雨天中止			3,123	8月15日(金)	下久堅運動場
◇	目的	地区住民を対象に、親睦・交流を図る	実施内容	地域の親睦と交流を目的に、常会対抗で野球大会を実施する。今回が57回目となる歴史ある行事となっている。(9チームが参加)【雨天中止】			評価	【総括と今後の方向付け】既に50回以上続く歴史ある地区恒例の行事となっている。競技が誰にでも出来るものではないため、参加者が毎年同じ顔ぶれといった課題も残す。公民館事業として開催することが良いのか、実行委員会形式が良いのか、充分検討が必要だと認識している。		
◆	下久堅地区市民運動会		地区費	継続	1	641	641	3,123	10月19日(日)	下久堅小学校校庭
◇	目的	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る	実施内容	地区の住民が、楽しく気軽に参加することにより、今まで以上に多くの人と人が交流できる機会として、また健康推進の機会として地区運動会を実施する。実行委員として中学生の協力を募り、今年度は6名が実行委員として関わった。形だけの参加でなく、担当を持ち、1つの競技を運営も行った。			評価	【総括と今後の方向付け】全員で行う種目を増やしたり、種目の見直しなどを行った。効果としてはみんなで参加、みんなで楽しむが実践され地域のまとまりを作ることが出来た。今後もより楽しく地域づくりの源となる運動会として行っていきたい。		
◆	公民館長杯囲碁ボール大会		地区費	継続	1	45	45	3,123	11月23日(日)	下久堅小学校校体育館
◇	目的	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る	実施内容	誰でも身近に感じ楽しむことができるニュースポーツの普及と、住民の世代を越えた交流の機会を目的に開催する。今回は実施種目を囲碁ボールとし、公民館委員会育成部、高齢者クラブとも連携し、幅広い世代からの参加と交流を図る。			評価	【総括と今後の方向付け】体力差や技術に関係なく、誰でも気楽に親しめる種目であり、大変良い機会になったと認識している。また、高齢者や子どもたちの参加も多く、異世代による交流も図れた。今後も目的や意図をしっかりと持ち、健康増進とスポーツに親しめる機会をつくっていききたい。		
◆	冬季スポーツ大会		地区費	継続	1	100	100	3,123	2月1日(日)	下久堅小学校校体育館
◇	目的	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る	実施内容	冬季の健康づくりと交流を目的に開催。誰でも楽しめる種目として、ワンバウンドふらばーるバレーボールを分館対抗で実施する。			評価	【総括と今後の方向付け】冬季の貴重なスポーツ大会になっている。この種目にして7年目ということもあり、ニュースポーツを楽しむと共に競技性もでてきた。今後も継続して事業を実施するが、ニュースポーツを楽しむサークルを作る動きの支援を行って行きたい。		
◆	「ひさかた」の発行		地区費	継続	4	1,000	1,000	3,123	実施内容参照	下久堅公民館
◇	目的	地区住民を対象に、地域課題や生活課題の提起をし、地域への関心の向上を図る	実施内容	地域住民へ、地域課題や生活課題を提起するとともに、身近な話題をタイムリーに伝えることにより、地域に対する関心を高めるべく発行する。 151号 6月30日発行 152号 9月30日発行 153号 12月27日発行 154号 3月31日発行			評価	【総括と今後の方向付け】地区の時事広報として歴史を後世に残すとともに、地域住民の情報交換と文化意識の高揚の役割を果たすべく発行に努めてきた。公民館報の果たすべき役割を常に認識しながら、地域課題・生活課題の提起できる館報として発行を継続していききたい。		

下久堅公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	魚のつかみどり体験	市・地	継続	1	70	70	3,123	7月21日(月)	下久堅知久平
	目的 地区の親子を対象に自然体験を通して、親子の触れ合いを図る	実施内容 親子が体験活動を通じて、ふれあう機会を目的に開催する。今年度は魚のつかみどり体験を行い、その場で焼いて食べるという企画を初開催した。	評価 【総括と今後の方向付け】 親子で取り組み、子どもが普段家では見せない一面を見られ、交流を図りながら楽しく実施できた。常会の協力も得られ、好評であったため次年度の企画を継続していきたい。						
育成事業	親子マレットゴルフ大会	市・地	継続	1	30	30	3,123	9月21日(日)	親水公園マレットゴルフ場
	目的 地区住民を対象に、マレットゴルフを通じて親子の触れ合いを図る	実施内容 子ども達や保護者を中心に、青少年の健全な育成につながる機会をつくることを目的に開催。	評価 【総括と今後の方向付け】 親子ペアでホールを回り楽しんだ。マレット同好会に指導いただき、マレットゴルフの楽しみ方を親子で分かち合った。今後も活動を続けていきたい。						
育成事業	親子交流事業	地区費	新規	1	50	50	3,123	11月16日(日)	下久堅小学校体育館
	目的 地区親子を主な対象として、アトラクションを楽しみながら触れ合いを図る。	実施内容 OIDE長姫高校のテックレンジャーショーを観覧して、交流を通して、親子の触れ合いの機会をつくり事を目的に開催	評価 【総括と今後の方向付け】 文化部主催のひさかたウォーキング参加者も楽しめるようにウォーキング後の企画として計画した。ショーの後の握手会などを親子で楽しみ、目的であった交流が深められた。次年度も他の専門部と連携した企画で、内容を充実させていきたい。						
育成事業	親子書き初め教室	市費	継続	1	44	44	3,123	1月4日(日)	下久堅公民館
	目的 地区住民を対象に、伝統行事を通じて親子の触れ合いを図る	実施内容 毎年実施している正月の恒例の行事。新年を迎えるなか、昔からの伝統行事を親子で興じる機会になっている。	評価 数量的成果 参加して大変良かった・良かった 100% 【総括と今後の方向付け】 地元の書道の先生に指導いただくこと、親子で書道をするのは普段あまりないので子どもにとってはとても新鮮であるようであった。冬休みの宿題ということもあり、人気のある事業なので今後も継続して行っていきたい。						
その他	下久堅地区成人式	市・地	継続	1	45	45	50	1月11日(日)	よし乃亭
	目的 新成人を対象に、成人を祝うと共に地域を感じる機会とする	実施内容 成人該当者との恩師ビデオレター撮影ツアーを実施し、実行委員会を立ち上げる。記念誌の原稿作成や祝賀会の実施内容などについても、実行委員会を中心に検討。また、当日の運営にも積極的に参画いただく。	評価 【総括と今後の方向付け】 今年度も、当日の運営、思い出の映像作成、記念誌の原稿作成など、成人該当者の参画を得ながら実施することができた。次年度以降も、成人該当者達の意見を大切にし、地域学習という視点を忘れずに、実施していきたい。						
その他	下久堅放課後子ども教室	市・地	継続	151	1,959	12	161	毎週月・火・木・金曜日	下久堅小学校
	目的 小学生を対象に、地域の方との交流を図ると共に、地域で子どもを育てる意識の向上を図る。	実施内容 心豊かでたくましい子どもを地域全体で育むため、地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子ども達の居場所づくりをする。また、地域の人材を活かし、週に1~2回程度、調理や読み聞かせなどの活動を行う。	評価 【総括と今後の方向付け】 地域の大人が講師や安全管理員になり、料理教室・科学工作教室・スポーツ・読み聞かせなどのメニューを実施した。今年度より保護者の参加を促したため、スタッフと保護者の意思伝達がスムーズになった。次年度以降も継続的に事業実施をしていきたい。						

上久堅公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「わくわくキッズ」	市・地	継続	23	185	7	25	月2回 実施内容参照	上久堅公民館 他
	<p>目的 保育園入園前の幼児とその親を対象に、様々な体験等を通じた子育てについての学習、親同士の情報交換による子育て不安の解消、子どもの健全な育成を図る。</p> <p>実施内容 保育園、保健師、保育士と連携して実施。 常任講師：桐生早織さん ①はじめましての会～手型・足型～②栄養士さんと料理教室③小学校へ探検に行こう④新聞紙で遊ぶ⑤どろんこ遊び(保)⑥人形劇鑑賞(小学校)⑦プール・水遊び(保)⑧人形劇フェスタ⑨こどもの病気について講演会(千代との合同)⑩運動会⑪リズム遊び(保)⑫みんなでおしゃべり(千代との合同)⑬焼き芋大会⑭体験陶芸教室⑮街中行こう⑯タオル遊び⑰クリスマス会⑱どんど焼き(保)⑲おやつ作り(保)⑳節分㉑保育園で遊ぶ㉒アロマハンドクリームを作る㉓まとめの会～手型・足型～</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 保育園と連携することで、入園前から保育園の環境に慣れるためのよい機会となり、保育園、乳幼児学級の母親ともよい感想をいただいている。今年も隣接する千代地区との合同事業始め、陶芸教室への参加、文化展への紹介パネル展示など地域の方との広い交流の機会を増やした。地域の方からも普段接することのない子育て世代と顔を合わせてよかったとの声を聞いた。今後も親同士のつながりを大切にしながら、地域に乳幼児学級を周知してもらい、世代を超えた交流の場も提供していきたい。</p>								
学級・講座	十三の郷ウォーキング事業	市・地	継続	4	160	32	1,429	年4回	地区内
	<p>目的 地区住民を対象に、郷土の歴史や風物などを学習することにより、ふるさと上久堅の素晴らしさの再認識・再発見を図る。また、地区外にも発信し、上久堅の魅力に触れてもらう。</p> <p>実施内容 上久堅の自然、史跡名所など地域の魅力を再発見しながら健康推進を図る目的でまちづくり委員会保健推進委員と共催で年4回実施。各回に地区内の講師をお願いして、ガイドをしてもらいながら歩いた。 (実施内容)・4月お花見ウォーキング 講師：後藤良郎(桜を愛する会) ・6月森林浴ウォーキング平栗峠～卯月山 講師：北沢嘉三氏(小野子区) ・10月神之峰とその歴史をめぐる 講師：長谷部三弘氏(風土舎)、福島晴啓氏(上久堅を学ぶ会) ・3月三遠南信自動車道ウォーキング</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 今年は新聞や南信ほおたるを活用し、地区外へも発信したところ反響が大きく、平均すると地区外の参加者が多くなっている。上久堅の魅力を地区外へ宣伝する機会であるが、上久堅住民に地域の魅力を再発見してもらうには不十分であった。講師に地区内の方をお願いしてきたことは好評であった。今後は地区内の方が参加しやすい内容検討が必要である。</p>								
学級・講座	上久堅小学校PTA・公民館共催講演会	市・地	継続	1	100	100	1,429	11月30日	上久堅小学校
	<p>目的 小学生とその親・一般を対象に、小学生の基本的な生活習慣の取得を図る。</p> <p>実施内容 小学校と連携し、学齢期の子どもたちが基本的な生活習慣を身につけること、またその親の悩みを解消するための講演会を開催。今年度は小学校の人権学習週間、まちづくり委員会主催の平和記念祭の時期に併せて実施、当地区から満蒙開拓へ渡航された歴史について平和学習を行った。 (開催概要) 講師：三沢亜紀さん(満蒙開拓平和記念館) 内容：地域で向き合う満蒙開拓の歴史</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 地域全体で地域の歴史について見つめる学習の場となった。子ども達だけでなく、PTAも初めて地域の歴史を知る人が多く、人権平和学習のいい機会となった。講演会後には、地区の皆さんとPTAの懇談会を開き、日頃接点が少ない世代が一堂に会し地域について語り合う場ももてた。今後も学校と連携・企画をし、地域で育てる子どもについて地域全体で考える機会ともしていきたい。</p>								
学級・講座	人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」	市・地	継続	1	37	37	1,429	8月6日	飯田市民館
	<p>目的 保育園・小学生の親子を対象に、有料の大型人形劇を観劇する機会を提供する。</p> <p>実施内容 人形劇フェスタに合わせ図書館と連携して実施した。保育園児も数名参加してくれるようになり、地区公演と重ならない平日の半日開催とした。 (開催概要) 内容：劇団プーク『ピンクのドラゴン』</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 図書館員と計画し、当日の引率もお願いして開催。しかし、今年は人気の劇団の鑑賞だったためか、予想以上の応募があり、定員を超えた場合の対処が曖昧であったため、不安感を与えた面もあった。子どもが少ないこの地区で多くのみなさんに気持ち良く参加してもらえる企画となるよう、募集の書き方を心がけ、今後も継続する事業としたい。</p>								
学級・講座	南信州狼煙リレー	地区費	継続	1	20	20	1,429	9月6日	神之峰
	<p>目的 地区住民を対象に、郷土の歴史や風物などを学習することにより、ふるさととの再認識を図る。</p> <p>実施内容 この地域に数多く残る狼煙台を見直し戦国時代の歴史を考えることにより、ふるさととの再発見・再認識を目指すとともに、南信州各地の連携を深めるために実施。飯田下伊那の各地区公民館へも呼びかけ武田信玄狼煙会として狼煙上げを行った。上久堅独自の取り組みとして上久堅小学校6年生の代表が鎧かぶと姿で点火している。</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 小学校6年生が点火するようになり2年。小学校の園庭作業と重なる日程だが理解いただき続けている。子どもにとっても記念になっているようである。元公民館役員有志が中心になって行っているが、大人も子どもも参加すると活気が出ている。今後は、郷土学習としての位置づけも検討していきたい。</p>								

上久堅公民館の事業報告

区分	事業名			予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	図書館 冬のお楽しみ会			市・地	継続	1	60	60	1,429	12月21日	上久堅公民館
	目的	実施内容	評価	<p>上久堅図書館との共催事業。乳幼児学級・保育園・小学校へ呼びかけて実施した。今年度は図書館が公民館の耐震改修工事に重なり、リニューアル開館イベントとして「クリスマス会」を実施。</p> <p>(実施内容) 上久堅小学校3年生による人形劇、パネルシアター、クリスマス工作等</p> <p>数量的成果 (項目名と数値) 図書館新規登録者 2名</p> <p>【総括と今後の方向付け】 通年開催のお楽しみ会より3倍の申し込みがあり、イベントと併合することで開館の集客があったように思う。図書館の開館を心待ちにしていた人、久しぶりにイベントに参加する人など広く参加があった内容は、外部講師に依頼するのではなく、図書館員自らが企画・講師を務めた。今後も親子、図書館双方の交流の場として継続していきたい。</p>							
学級・講座	多文化ふれあい交流会			市・地	継続	1	31	31	1,429	3月1日	上久堅公民館
	目的	実施内容	評価	<p>一般を対象に、一人一人が尊重され、誰もが多様性の文化を理解し社会活動に主体的に参加することを図る。</p> <p>昨年に引き続き、地区内在住の外国出身者を講師に招き、料理づくりと食事を通じて多文化を理解し、地域活動に主体的に参加できる基盤づくりを行った。</p> <p>(開催概要) 講師：原 麗子、渋谷幸子(中国出身) 内容：水餃子、中華サラダ、交流会(中国語ミニ会話講座)</p> <p>【総括と今後の方向付け】 食を通じた文化交流は国籍を超えて気軽に交流ができるいい機会であった。今年度は中国のミニ会話も教わり、交流の輪が広がった。当地区には外国籍の住民は多くないが、飯田市内にはいろいろな国籍の方が在住しているので今後も食やスポーツを通して外の文化を知る機会としたい。</p>							
学級・講座	男性料理教室「男子厨房に入る」			市・地	継続	5	41	8	1,429	隔月	上久堅公民館
	目的	実施内容	評価	<p>中高年、高齢者の食生活の改善を図るため、飯田市食生活改善推進協議会上久堅分会を講師に年5回開催した。</p> <p>(実施概要)①5/23五平餅②7/19カレーライス、サラダ③9/29豚肉のインド風ソテー、カボチャのスープ④11/13あらびきこうやと野菜のカレー⑤2/19春巻き他</p> <p>【総括と今後の方向付け】 今年度も料理実習だけでなく、健康推進のための料理塩分測定を行った。新しく2名の方が加わり、わきあいあいと料理作りをしている。来年度は文化祭開催の年であるので、日頃の教室の成果を形で見せるような料理の提供の場についても検討していきたい。</p>							
学級・講座	上久堅陶芸教室			市・地	継続	5	80	16	1,429	11月14日～12月12日	上久堅小学校
	目的	実施内容	評価	<p>今年で5回目の開催。地域の土や釉薬、学校の窯を使用した陶芸教室を行なうことで、芸術に触れながら地域に愛着を持つ心を育むことを目指し実施する。作成した作品は、上久堅地区文化展にも出展し活動をアピールした。</p> <p>(開催概要) 出展内容：皿、花瓶、ご飯茶碗、電気スタンド 等 出展参加者：16名 講師：加藤元秀 氏</p> <p>【総括と今後の方向付け】 より多くの方に芸術に触れてもらえるよう、今年度は乳幼児学級の講座を陶芸教室と同時開催した。参加した乳幼児のお母さん達からは、陶芸教室の存在は知っていたが行く機会がなかった参加してみたら夢中で作れた。等の感想があり、多世代交流も図る講座にもなった。今後も小学校含め、どの方も気軽に触れ合える場として続けていきたい。</p>							
学級・講座	上久堅を学ぶ会			市・地	継続	12	288	24	1,429	月1回	上久堅公民館
	目的	実施内容	評価	<p>月1回村誌を中心とした郷土を学ぶ会を開催。講師は、村誌編纂にかかわられた方を中心に依頼している。</p> <p>また、学ぶ会から方言部会が新たに立ち上がり、お年寄りへ方言の聞き取り、歳時記の作成を行っている。将来は、子どもたちが歳時記を学ぶことができるように、郷土の歴史・文化の伝承も検討している。</p> <p>常任講師：岡田 正彦 氏</p> <p>【総括と今後の方向付け】 月1回行う上久堅学ぶ会は月平均24名ほどの参加があり、毎月の開催を楽しみにしている方がいる。来年度からは自主的な運営・周知を尊重し、公民館は後方支援に回る。2年あまりの月日を費やした方言歳時記が平成27年2月に発刊予定である。今後はこの冊子の普及浸透を検討していきたい。</p>							

上久堅公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	十三の郷ふれあいコンサート	市・地	継続	1	140	140	1,429	11月23日	玉川寺
	目的 一般を対象に、身近な場所で質の高い音楽に触れ、文化芸術の大切さや価値の再認識を図る。	実施内容 質の高い音楽を身近な場所で鑑賞することにより、文化芸術への関心を高めるとともに地域住民の親睦・交流の場を提供。 (開催概要) 演奏: アルカディア、上久堅小学校児童	評価 数量的成果(項目名と数値) 「とてもたのしかった」、「たのしかった」が回答中9割 (40/43) 【総括と今後の方向付け】 公民館耐震改修工事中の開催となり、会場を地区内のお寺に移し「お寺deJAZZ」と銘打ちジャズの演奏を楽しんだ。公民館が使えないので1年休むのではなく、会場を探しその状況で出来るイベントを考える役員の底力を感じた。参加者からは、いつもと違う場所で新鮮だった、身近で日常と離れた時間を過ごせたなどの声があった。今後も地域のニーズに沿った芸術文化の推進を続けていきたい。						
文化事業	人形劇フェスタ2014上久堅公演	市・地	継続	4	368	92	1,429	実施内容参照	上久堅保育園他
	目的 地区住民を対象に、身近な場所で公演を行なうことで、人形劇に親しむ機会を提供するとともに人形劇フェスタの地域での盛り上げを図る。	実施内容 地区内4会場で実施。実行委員会を、保育園保護者会・分館で組織し、各場所て工夫をこらして人形劇フェスタを盛り上げた。 (開催概要) 8/8上久堅保育園 パペットなもんや、上久堅小学校3年生 143人 8/8元平栗分校 劇団ばんび 82人 8/9越久保センター まの秘密結社、劇団みちのく 60人 8/10原平集落センター 手風琴、あがりえ虫 83人	評価 【総括と今後の方向付け】 保育園保護者会、各分館、文化委員会を中心に運営員会を行い、各会場とも工夫をこらして行うことができた。特に今年は子どもボランティアを募り、各会場とも数人ずつ運営に携わった。子どもボランティアは役員から好評で、子どもがいるとスタッフにも活気がでたとの意見があった。今後もこの地域ならではの手作り感のある会場づくりを行ってきたい。						
文化事業	上久堅地区文化展	地区費	継続	1	450	450	1,429	1月25日～31日	上久堅公民館
	目的 地区住民を対象に、日頃の活動の成果発表の機会を提供し、地域住民同士の親睦・交流を図る。	実施内容 地区内のサークル・個人と連携して隔年で開催している。地区内で活躍する様々な団体・個人が活躍できる場を提供し、地域の文化度をより一層高める機会とした。地区内の保育園、小学校、中学校の作品の披露も兼ねている。 (開催概要) 展示: 9団体、6個人 出展数: 約200点	評価 【総括と今後の方向付け】 今年は公民館耐震改修工事があり、新しい公民館のお披露目と飯田市50周年記念の開催日に合わせて行い、例年より多くの住民に文化展を楽しんでいただけた。また、過去の公民館活動写真展示を行い、そちらの評判も高かった。年々、作品展示数が減っているが文化展を楽しみに作品制作をしている方がいるので、これからも思考をこらし、多くの方に楽しんでもらえるよう検討していきたい。						
文化事業	下栗ふれあい祭りへの参加	地区費	継続	1	35	35	1,429	11月2日	上村下栗地区
	目的 地区住民を対象に、地区特産品の掘り起こしと他地区との交流や情報交換を目的とする。	実施内容 年で2年ぶり5回目の参加。文化祭未開催年に、特産品の掘り起こしや住民交流、情報交換を目的として、上村下栗地区の下栗ふれあい祭りに参加させていただいている。今年度は新規就農者の生産物はじめ、上久堅の特産品をアピールした。 (実施内容) 出店: 2団体、9個人 出店品: 小野子にんじん、はちみつ、りんご、手作りみそ他	評価 【総括と今後の方向付け】 今年は、新規就農者の皆さんへ積極的に声をかけ出品してもらい、沢山の特産物を販売できた。生産者も一緒に参加してもらおうよう依頼したが、収穫の時期が重なり、半分くらいの参加であったのが残念である。上村下栗地区とは毎年交流させていただいており、良い刺激を受ける機会でもあるので、生産者には多く参加してもらおうよう努めていきたい。今後も交流を深め、魅力ある地域づくりにつなげていきたい。						
体育事業	AED講習会	地区費	継続	1	22	22	70	4月20日	上久堅公民館
	目的 地区住民が不測の事態に備えて地区内に設置されているAEDを適切に使用できるよう取り組む。	実施内容 救急車の出動をかけたから到着まで20分近くかかる当地区で、より迅速に適切な心肺蘇生ができるよう、活動に取り組んだ。 (開催概要) 講師: 飯田広域消防本部 3名 内容: 普通救命講習 I 対象: 全公民館委員、社会教育関係団体(スポーツ)	評価 【総括と今後の方向付け】 毎年行っているが、講習経験者は参加しない人が多く昨年より人数は少なかった。しかし、年に一度、心肺蘇生法を学ぶ機会とらえ、参加者が増えるよう呼びかけをつけていきたい。今年は公民館のホールで行ったが、いつも暖房がきている環境とは限らないので小学校の体育館での実施を望む声もあり、検討していきたい。						

上久堅公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	竜東中学校区交流球技大会		地区費	継続	1	132	132	132	5月17日	竜東中学校
	目的	実施内容	竜東中学校、竜東中学校区小学校、上久堅・千代・龍江地区青少年育成委員会が主催となって開催。地域の縦のつながりを大切にチーム作りを行い、小学生が中学校の様子を知る機会とした。 (実施内容)種目:ペタンク 対象:小学校6年生(19名)、中学生(78名)、チーム数:16			評価	【総括と今後の方向付け】 自主参加の行事にもかかわらず90%以上の出席率があった。歴史が長い大会であるので、今後も継続できるよう、3地区で協力して運営していきたい。今年も補助をするPTAや地区の役員のみなさんが球技大会の経験者で見守る中、交流を深められることができた。			
体育事業	分館対抗女性スポーツ大会		地区費	継続	1	120	120	730	6月22日	上久堅小学校
	目的	実施内容	女性のスポーツ活動促進と女性同士の交流・親睦を深めることを目指しソフトバレーボール大会を実施。各分館1チームずつ出し合った。 (大会結果) 優勝3分館 準優勝1分館			評価	【総括と今後の方向付け】 練習や大会で親睦を深めながら行うことができた。分館長自らが声掛けに家を回るなどし、いつもは参加されない方の参加がある分館があった。若いお母さん達の勇姿を祖母と子どもが応援する場面があり、今後も世代を超えた交流になることを期待したい。			
体育事業	分館対抗ソフトボール大会		地区費	継続	1	120	120	1,429	8月24日	小野子農村広場
	目的	実施内容	各分館で1~2チーム出し、2ブロックでソフトボール大会を行った。 (大会結果) ・Aブロック【優勝】1分館【準優勝】5分館 ・Bブロック【優勝】3分館【準優勝】5分館 ※合計9チーム出場			評価	【総括と今後の方向付け】 盛夏の時期であるために日よけとして用意したテントは好評であった。高齢化で参加できる人が減ってきていると言われるが、若い世代の参加やこの日を楽しみにしている中高年がいる限りは続けてまいりたい。			
体育事業	上久堅地区運動会		地区費	継続	1	650	650	1,429	10月12日	小野子農村広場
	目的	実施内容	上久堅公民館事業の中で最も参加者が多く、大変意義のある事業である。総合優勝を廃止しているが分館対抗種目は残し、それぞれで順位付けを行い表彰した。 (新規事業)新種目に新成人が企画した「ご当地〇×クイズ、武将クラブの後援による武将行列、酒井浩文氏による準備体操			評価	【総括と今後の方向付け】 今年は新成人が企画した種目、65歳以上が多く参加できる種目と種目検討に力を入れ、より多く方が参加できる種目が増えた。運動会は地区の最大イベントであるので、毎年工夫改善をして今後も継続していきたい。			
体育事業	冬季スポーツ大会		地区費	継続	1	260	260	1,429	2月1日	上久堅小学校
	目的	実施内容	誰もが気軽に参加できるようワンバウンドふらば〜るバレー大会を分館対抗で行った。昨年に続き、高齢者向けに囲碁ボール体験会を同時開催した。 (大会結果)(ワンバウンドふらば〜るバレー) 参加者200名 ・Aコート【優勝】3分館【準優勝】1分館 ・Bコート【優勝】5分館【準優勝】1分館 ・Cコート【優勝】1分館【準優勝】3分館 (囲碁ボール体験会)参加者60名			評価	<p>数量的成果 (項目名と数値) 囲碁ボールが「楽しかった」100% 囲碁ボールを公民館事業にする「賛成」100%</p> <p>【総括と今後の方向付け】 囲碁ボールが浸透してきた成果か、冬季スポーツ大会が例年にない参加者で大変に盛り上がった。囲碁ボールの会場に小学校の一室を借りて行ったり、両種目に小学校先生方も参加されたりと小学校との連携もできた。来年は小学校で1チーム参加してもらえるような動きもある。高齢者からの囲碁ボールも好評であり、地域が一体となった事業になりつつある。</p>			

上久堅公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報「かみひさかた」発行		地区費	継続	4	53	12	1,429	実施内容参照	地区内
	目的	広報委員会を中心に、地域の情報発信、課題提起、将来への記録等を図る。	実施内容	公民館活動はもちろんのこと、日頃の地域の情報を分かりやすく読みやすく発信できるように心がけた。 発行数：4回（5月、9月、11月、2月） 発行部数：650部 館報発送サービス：地区外在住の購読希望者へ送付			評価	【総括と今後の方向付け】 2月号を公民館耐震改修工事、飯田市合併50周年を特集した特大号をまちづくり委員会総務委員会と協力して発行した。多くの人数で作業すると多様な意見が出る反面、何もしない担当が出るなど一長一短な意見が出た。役員に携わる人員削減が検討される中であるが、館報のもつ意味について委員会ですっかり議論してよりよいものを発行していきたい。		
広報事業	館報編集学習会		地区費	継続	1	10	10	12	6月25日	上久堅企業センター
	目的	広報委員を対象に、基本的な文章の書き方を軸に、写真撮影、取材方法、割付方法などの基本的な技術の向上を図る。	実施内容	新たに迎えた広報委員の館報作成技術向上のために、新聞社等から講師を招き開催した。新聞を作る上での基本的な部分を中心に学習し、館報づくりに活かす学習会であった。 講師：信濃毎日新聞読者センター 内容：館報づくりヒント 新聞を伝える工夫			評価	【総括と今後の方向付け】 毎年、新聞記者を講師に迎えて新聞作りの学習会を行っている。初めて館報づくりに携わる委員の方には基礎を学べる機会になっている。しかし、館報について新聞記者がどれだけ知っているかとの懸念もある。今後は館報そのものについて勉強する学習会の必要性を感じる。		
広報事業	館報発送サービス事業		地区費	継続	4	236	59	59	年4回	地域外希望者
	目的	全国各地の上久堅出身者を対象に館報を郵送し、生まれ育った地域の情報を知ってもらう。	実施内容	東京神峰会の方を中心に呼びかけ、生まれ育った上久堅が今どきのようになっているか知っていたく機会として行っている。上久堅をPRすることも目指し、様々な地区内チラシを同封してきた。 発送：年4回（館報「かみひさかた」に準じる） 登録者：59名			評価	【総括と今後の方向付け】 毎回発送されてくるのを楽しみにしている方も多く、生まれ育った地域の情報を発信する良い機会となっている。東京神峰会を対象に始まった事業であるが、その他の地区外へ出ている出身者の登録を増やす検討をしていきたい。		
広報事業	第5回 上久堅写真展		地区費	継続	1	117	117	1,429	1月25日～31日	上久堅公民館
	目的	地区住民を対象に、地域の魅力再発見・再認識によるふるさと意識向上を目指す。	実施内容	上久堅地区文化展に合わせて実施した。 上久堅に残していきたい風景をテーマに募集して行った。 出展数：39作品 表彰：5作品 後援：信濃毎日新聞社、南信州新聞社			評価	【総括と今後の方向付け】 三遠南信道路で変わりゆくふるさとを見つめ直す機会として始まり今年で5回目を迎えた。年々応募する人が固定化し、作品数も減っている。継続について委員を中心に考える時期にきている。その中で今年は、今までの公民館活動記録写真の展示も行った。懐かしい写真にこちらは好評であった。新しい企画を考えてみたい。		
企画事業	ふるさと自然体験2014・お泊り合宿		市・地	新規	1	96	96	1,429	7月19日	北田遺跡 他
	目的	地域住民を対象に、上久堅の地理を活かし、自然の美しさを感じる環境学習、ふるさとの良さを知る共同学習の場とする	実施内容	①北田遺跡についての話（講師上久堅を学ぶ会） ②まいきりを使って火おこし体験 ③はんごうを使ってご飯を作る（協力：食生活改善推進協議会上久堅支部） ④星空観察会（講師：飯田御月見天文同好会）			評価	【総括と今後の方向付け】 当日の運営も公民館役員はじめ、食改、保護者、男性料理受講者と多くの方と協力して行えた。日程、参加対象者については検討の余地がある。参加者より、内容について素晴らしいとの声が多かったので、今後続けていくにあたって、公民館役員だけでなく、地域として子どもが育つ環境について話し合いをする場をもち、方向性を共有する場が必要である。		

上久堅公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	分館自主活動		市・地	継続	5	125	25	1,429	7月～12月	集会所他
	目的	実施内容	<p>最も身近な分館を利用して、生活課題を解決するための自主活動を各分館1回以上行う。企画から運営までを各分館が主体的に担い、分館活動活性化に努めた。 (実施内容)2分館:囲碁ボール体験会 3分館:中高齢者囲碁ボール体験会 4分館:マレットゴルフ、囲碁ボール 5分館:ポーリング大会 6分館:囲碁ボール</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 分館活動の活性化に重点を置いているため、内容、実施は分館が主体となって行っている。今年は体育委員会から囲碁ボールの普及の要請があり、囲碁ボールを実施した分館が多かった。最近では座学よりは体を動かし交流する活動が増えている。分館が主体で行っているが、実施目的にある「生活課題を解決する」部分を再度検討して次年度につなげていきたい。</p>			
企画事業	世代交流しめ縄飾り講習会		市・地	継続	6	116	21	1,429	12月14日～12月21日	各集落施設
	目的	実施内容	<p>育成会の引き継ぎ8年目。地域の高齢者を講師に迎え開催している。PTAとの共催事業でもあり、小学生の親子が参加者の中心であるが最近では、地区の大人も参加している。 (実施内容) 各分館1回 計6回実施</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 子どもの人数が減少しているが、家の飾りを作る機会になると大人の参加者が増えてきている。作り方だけでなく、飯器(ごき)の持つ意味を習い、子どもの親たちも初めて知ることが多く、3世代が交流し、伝統文化を受け継ぐ機会となっている。可能な限り継続してまいりたい。</p>			
その他	第22回 ひさかたの火まつり		他会計	継続	1	1,000	1,000	1,429	8月15日	北田遺跡 他
	目的	実施内容	<p>ひさかたの火まつり実行委員会主催の祭りを組織的に支援している。上久堅公民館は文化委員会を中心に子どもの健全育成、住民交流、北田遺跡公園の活用を目指し、竹細工教室・火おこし体験・原始人体験を行いながら、昔の生活に思いをはせた。</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 公民館では第1部北田遺跡で竹細工作りや流しそうめん、火おこし体験、原始人体験を行い、ひさかたの火まつりを盛り上げることができた。天候が優れず参加者の足取りが悪かったが、参加した人が一通りの行事を体験できたので内容は充実していたようであるが、地区内在住の子どもが少なかったのが残念である。実施方法を検討の余地がある。地区をあげてのお祭りであるので、伝統として受け継いでいきたい。</p>			
その他	第21回 小川路峠へ登ってみよう		他会計	継続	1	84	84	1,429	10月26日	小川路峠
	目的	実施内容	<p>上久堅観光協会が主催する行事に共催として参画。小学生による看板設置や上村との合流地点での合唱など、小学校と連携して実施した。 参加者:84名</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 今年も地区内外からの参加者が大勢参加し、秋の山散策を楽しんだ。長年続いているこの事業を上手く活用し上久堅の魅力を知ってもらう大切な機会として、今後もウォーキング事業などと合わせて積極的に協力していきたい。</p>			
その他	上久堅地区成人式		市・地	継続	1	14	14	14	1月11日	上久堅公民館
	目的	実施内容	<p>新成人代表と文化委員を中心に実行委員を組織し、地域の方の協力をいただきながら成人式を開催した。式典は厳かに行い、祝賀会は新成人が楽しめるように、また地域学習の発表として新成人代表がアトラクションを企画運営した。 式典:主催者あいさつ、新成人の抱負、恩師からメッセージ 他 記念撮影:新成人・恩師、新成人・恩師・保護者 祝賀会:思い出のスライドショー、記念品案内、地域学習の発表</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 今年も新成人14名が全員参加でき、例年にも増してよい雰囲気の中で式が行われた。新成人実行委員会を中心に地域学習、アトラクションの準備を進めてきた。準備運営の中で、公民館役員を中心とした地区の方と関わり、改めて地域のあたたかさを感じられたようである。今後もこの地区らしい地域の方との関わりを大切にしたい。</p>			

千代公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ちよっ子クラブ(0～3歳児学級)	市・地	継続	21	108	26	32	毎月第2、第4火曜	千代公民館ほか
学級・講座	目的 0～3歳児とその親を対象に、乳幼児から集団での遊びをすることにより、親同士の仲間づくり、情報交換の場を提供し、子育て等様々な不安・ストレスの解消を図る。	実施内容 常任講師：小木曾嘉子保育士、土屋美智保健師 ①開講式(年間計画作成・レクなど) ②わらべうたあそび♪ ③大きな布&親子で遊ぼう！ ④消防署へ行こう ⑤七夕短冊を作ろう ⑥プールで遊ぼう！(ひよこの会と合同) ⑦「いいだ人形劇フェスタ」観劇 ⑧小児科の先生のお話 ⑨動物と触れ合おう♪～林牧場へレッツ・ゴー！！～ ⑩ピーナッツボール&トンネルで遊ぼう♪ ⑪上久堅のお友達と遊ぼう ⑫動物を見に行こうin飯田動物園 ⑬おいしいおやつ作り ⑭親子あそび♪ ⑮クリスマス会の準備 ⑯クリスマス会⑰新聞紙で遊ぼう ⑱小麦粉粘土で遊ぼう ⑲成長の記録を残そう ⑳みんなでいちご狩りへ行こう ㉑閉講式(地元のピアノの先生による演奏もあり)	評価 【総括と今後の方向付け】 地域の子どもの数が年々減少していることに加え、未満児保育を利用される方が増えており、親同士の交流機会が少なくなっている。 よって今年度は、「⑥プール遊び」で千代保育園の未満児「ひよこの会」と、「⑧小児科の先生のお話」「⑪上久堅のお友達と遊ぼう」で上久堅の乳幼児学級との合同で行い、より多くのママ友をつくる機会を提供した。 今後は、ママ友のみならずおばあちゃん世代の方との交流の機会を提供し、「千代は安心して子育て出来る地域」と感じてもらえるようにしたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児教育講座	市費	継続	1	20	26	32	8月27日	千代公民館
学級・講座	目的 0～3歳児とその親を対象に、乳幼児がかかりやすい病気について学び、その予防や対処法を理解し、子育てへの不安の軽減を図る	実施内容 乳幼児がかかりやすい病気について講師の説明を聞きながら、気軽に質疑できるようにして、乳幼児の病気についてより理解を深められるようにするとともに、子育ての悩み等を相談できる機会として実施。 講師：和田浩氏(健和会病院医師) テーマ：子どもの病気のあれこれ聞いてみよう！	評価 【総括と今後の方向付け】 子どもの病気について理解を深めることができる有意義な機会となった。上久堅の乳幼児学級と合同で行い、より多くの参加者を得ることができた。親同士の意見交換もでき、情報を共有することができた。 来年度もこのような機会を提供していきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	子育てパワーアップ講演会	市・地	継続	1	60	60	300	5月31日	千栄小学校
学級・講座	目的 子を持つ親を対象に、大人がネット社会を理解し子どもと話し合う必要性の共有を図る	実施内容 千栄小学校 演題：「子ども達をめぐるネットトラブルの現状」 講師：富田 マミコ氏(マルチメディア振興センター) 内容：子ども達に迫るネット危機の実態と特徴、予防法と対策法	評価 【総括と今後の方向付け】 「子ども達に迫るネット危機の実態と特徴、予防法と対策法。まずは大人がネットの危険性を理解しておかなければならない。またそれらの問題を家庭でしっかり話し合うことが大事。」という内容。ラインなどスマホを使いたいじめなどへの予防に有効であった。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	親子料理教室	市・地	継続	1	17	17	180	2月28日	千代公民館
学級・講座	目的 小学生親子を対象に、小学生の基本的な料理技術の習得を図る	実施内容 この教室をとおして、小学生の料理技術の習得や食生活やマナーを考えるとともに子どもと親のコミュニケーションを深める場とする。 講師：飯田市食生活改善推進協議会千代分会	評価 【総括と今後の方向付け】 参加者の多くが昨年と同じという課題がある。 来年度は料理教室単体で開くのではなく、人形劇フェスタ地区公演との同時開催というように、今までこの教室に参加しようと思わなかった方に参加してもらい、かつ、千代の食改の方々の活動を多くの地区の方に知ってもらえるような場にもしていきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	男性の料理教室	市・地	継続	1	11	11	870	11月7日	千代公民館
学級・講座	目的 男性を対象に、家庭料理の楽しさを知ってもらうとともに、バランス食を学ぶことで日常の健康への意識の醸成を図る	実施内容 家にあるものを使ってできる簡単な料理を覚えてもらうことで、家庭料理の楽しさを知ってもらう。また、バランス食を学ぶことで日常の健康への意識を高めてもらう機会とする。 共催・講師：食生活改善推進協議会千代分会	評価 【総括と今後の方向付け】 参加者から、日頃の食事のバランスを見直すことができ、料理を作る楽しさを感じられると好評である。しかし参加者の多くが昨年度と同じ顔触れである。 来年度は料理教室単体で開くのではなく、運動会役員を対象としたAED講習と同時開催というように、今までこの教室に参加しようと思わなかった方に参加してもらい、かつ、千代の食改の方々の活動を多くの地区の方に知ってもらえるような場にもしていきたい。						

千代公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	婦人学級		市・地	継続	10	92	21	290	実施内容参照	千代公民館ほか
	目的	女性を対象に、女性の力を発揮できる場を設け、千代全体の盛り上げを図る	実施内容	学習交流を通じ、教養を高め、仲間づくり、地域貢献活動を展開する。 ①7/2体力づくりボーリング大会 ②8/29 絵手紙講習会 講師：日本絵手紙協会 黒河内秀幸氏 ③8/2 天龍峡夏期大学聴講「今日からできる認知症予防」講師：東京都健康長寿医療センター研究所 宇良千秋 ④7/27 よこね案山子づくり(7/22作業) ⑤8/9 飯田りんごん参加 ⑥9/28 よこね稲刈り・収穫祭へ参加 ⑦11/16 千代地区文化祭(絵手紙展示、おでん出店、踊り発表) ⑧11/27 絵手紙講習会 講師：日本絵手紙協会 黒河内秀幸氏 ⑨2/10 千代デイサービスセンター訪問(天竜夢太鼓・猫にゃんにゃんの踊りの披露) ⑩3/12 年度末反省会			評価	【総括と今後の方向付け】 活気ある地域づくりへ向けた活動を目指し、受講生が積極的に学級内容を考え、活動している。 H25年度に引き続き「千代デイサービスセンター」を訪問し、利用者との親睦を深めることができた。また、よこね田んぼの案山子づくりでは、ぶっちぎりの票を獲得し最優秀賞を受賞した。 来年度は地域の若いお母さんたちとの関わりを積極的にもち、「元気な地域は女性が元気、女性が元気な地域は地域も元気」という婦人学級の教えを後世へ伝えていきたい。		
学級・講座	千代歴史を語る会		市・地	継続	3	120	31	1,800	実施内容参照	千代公民館ほか
	目的	地区住民を対象に、郷土の歴史や文化などを学習し、郷土への愛着と誇りの醸成を図る	実施内容	千代歴史を語る会はH24に住民主体で発足した。 ◇8/23 内容：法全寺と天與清啓 講師：織田顕行 美博学芸員 ◇11/24 歴史講座「千代の人物伝シリーズ第1弾」 内容：林芋村、米川伴助、遠山李市 講師：篠田孝雄、川手重光、澤柳勝夫 ◇1/17 歴史講座「千代の人物伝シリーズ第2弾」 内容：島岡亮太郎、松嶋薫 講師：嶋岡一蔵、松嶋孝明			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は、千代にゆかりのある”人”にスポットを当てた。 今後も継続して人にスポットを当てていき、30人程度になったら地区の多くの方を知っていただけるよう冊子にするなどし、記録にも残していきたい。 ※文化委員会の「ふるさと講演会in千代公民館」としての開催		
学級・講座	ストレッチ体操教室		市費	継続	1	25	25	1,800	3月7日	千代公民館
	目的	地区民を対象に、健康増進を図る	実施内容	健康福祉委員会との共催。各区で開催しているストレッチ教室を、本館で多くの人が集まって体操をし、健康増進を図る。 講師：村澤由美子氏			評価	【総括と今後の方向付け】 保健師・参加者と相談しながら続けるかやめるか検討。		
文化事業	人形劇フェスタ2014		市・地	継続	3	253	253	1,800	実施内容参照	実施内容参照
	目的	一般を対象に、地域の方と劇人が交流しながら、ともにフェスタを盛り上げ、人形劇と地域への愛着の増大を図る	実施内容	地域の方と劇人が交流しながら、ともにフェスタを盛り上げ、人形劇に親しむ機会として実施。 8/7 AM10:00 千栄小学校体育館にて 人形劇団とらまる 8/8 PM7:00 法山地域振興センターにて しんくんシアター、人形芝居めい遊 8/10 AM10:00 千代小学校体育館にて 人形劇団赤とんぼ、「千代っ子スマイル7」(千代小学校3年生)			評価	数量的成果 満足度85%(大変満足80、満足23、ふつう13、不満5) (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 観客は人形の挙動に素直に反応し表情豊かに観劇していた。一方で運営側は「なんとかこなし」で終わってしまったように思う。 より実行委員の主体的な取り組みとなるように委員個人の地域への想い(例：子どもにもっと千代を好きになってもらいたい)を反映した企画や、他の団体(食生活改善推進協議会、千代歴史を語る会、千代の方が加入している劇団「いなご☆チャーハン」)と協力することにより多くの人の関わりにより一つのイベントを作り上げる感覚を感じてもらい、委員が今より達成感を感じ、かつ、千代にしかないフェスタを作り上げたい。		

千代公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	千代峠交流会		市・地	継続	1	32	32	公募	実施内容参照	千代峠
	目的	実施内容	<p>いにしへの道「旧千遠線」を歩くことにより、歴史を感じ、自然を体験する機会とし、この古道を守っていくことで、地区の大切な文化を守っていくという意識を高めるために実施している。南信濃木沢分館との共催で、峠を越えた住民交流の機会としても活用している。雨天の影響もあり2年ぶりに実施した。今年度は峠で合流し、千代側へ下山した。 ◇整備作業：9月27日 ◇交流会：10月25日</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 荒れ果てた旧千遠線も、この活動により整備をし、かつての面影を感じるができるようになった。 南信濃木沢分館との交流も定着し、より充実した活動となっている。2年ぶりに交流ができたこともあり、両地区ともに参加者から好評をいただいた。</p>			
文化事業	千代地区文化祭		地区費	継続	1	300	300	1,800	11月16日	千代公民館
	目的	実施内容	<p>保育園、小学校、サークルをはじめとした諸団体、個人の作品展示、諸団体の活動や研究発表の場、芸能発表の場として子どもから大人まで広く文化に触れる機会づくりと地域交流のために実施。 作品展示、催し、芸能発表会(隔年)を実施。 ○作品展示：21団体6個人が出席 ○催し：牛乳パック福引き、特殊詐欺防止啓発物の配布屋台村、よこね米販売、はちみつ販売、千代ギネスに挑戦、千代検定、重さ当てクイズ ほか ○芸能発表会出演：10団体</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 天候にも恵まれ、大勢の方に参加いただいた。今年は芸能発表会ということで、10団体に出演してもらい、地域の方への発表の場として大変有意義な機会とすることができた。また、今夏竣工した公民館へ普段訪れる機会の少ない方にもお披露目の場となった。</p>			
文化事業	ふるさと講演会in法山地域振興センター		地区費	継続	1	70	70	1,800	6月29日	法山地域振興センター
	目的	実施内容	<p>千代を見つめ直し、郷土の課題をみんなで考え、ふるさとの再発見と文化の継承を図る機会とする。 ◇7/7 ふるさと講演会in法山 法山地域振興センター 70名 演題：「知ってることはまだわずか！？知的好奇心は若さのもと」 講師：高梨明紘 氏 前千葉工大教授 内容：現代社会の構造がいかなるものか。どのように現代の情報社会と付き合っていくか。大切なのは「ゆとろぎ(ゆとり、くつろぎ)」の精神を持ちながら無理なく生活していくことである。</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 少し難しい内容であったとの感想が寄せられた。 法山分館が企画運営をすべて行っている。 引き続きサポートしていきたい</p>			
体育事業	第1回 囲碁ボール大会		地区費	継続	1	260	260	1,800	6月8日	千代山村広場
	目的	実施内容	<p>高齢者向けの住民スポーツ交流大会として位置付け、激しいスポーツが難しい方の健康増進、交流事業として開催。 優勝：米川B 準優勝：下八A 3位：千栄東A</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 他のスポーツ大会には参加しにくい高齢者向けのスポーツ大会として定着し、高齢者が分館代表選手として地区スポーツ行事に参加する重要な機会となっている。 今後も高齢者が主役の体育行事として改善しながら継続していきたい。</p>			
体育事業	第14回 スーパーティーボール大会		地区費	継続	1	160	160	1,800	8月24日	千代山村広場
	目的	実施内容	<p>子どもや女性、一般男性が混合でスポーツができる競技としてニュースポーツ競技から「ティーボール」を選択し大会を実施している。 参加チーム：6分館連合から12チーム 優勝：法山B 準優勝：野芋A 3位：法山A</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 他の地区ではあまり実施されていない千代独特の事業となっている。しかし、真夏の屋外での開催となり、熱中症等の心配の声が多く聞かれる。 体育委員会が協議した結果、今年度を持って終了とする。</p>			

千代公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	千代地区市民運動会		地区費	継続	1	600	600	1,800	10月19日	千代山村広場
	目的	一般を対象に、地域のコミュニティーづくりを図る	実施内容	地区内最大規模の住民交流事業として大きな意義のある事業となっている。参加しやすく楽しい内容となるよう、種目を検討しながら実施している。小分館を中心に選手集めが厳しくなっており、平成23年度からは分館連合にて競技をすることが決定した。年々、分館連合の意思疎通が円滑に進んでいる。 参加チーム：6分館連合から6チーム 優勝：野芋 準優勝：法山 3位：下八			評価	【総括と今後の方向付け】 地区民が最も多く参加する地区の最大の行事である。最大の行事ゆえに、役員の負担感から「隔年開催に」との声が一部から上がっている。 今後は「何のための運動会か」をまず議論したうえで企画することにより地区民の総意による地域にとってより良い運動会となるよう発展させていきたい。		
体育事業	第5回 ワンふらバレー大会		地区費	継続	1	210	210	1,800	2月1日	千代小学校体育館
	目的	一般を対象に、健康増進と地域交流を図る	実施内容	ニュースポーツの普及の観点また多くの方に参加いただけるように、「ワンバウンドふらば〜るバレー」を行っている。地区内へも普及してきて、青年から中高年まで幅広い層を対象にして実施している。 参加チーム：6分館連合から12チーム 優勝：法山B 準優勝：米川B 3位：野芋A			評価	【総括と今後の方向付け】 ワンふら特有のボールがどこにいかかわからない競技性もあり、千代公民館長が最も大切にしている「スマイル」がたくさん見られた。 若者から高齢者まで幅広く出場できる種目で好評を得ている事業のため継続して実施していきたい。		
広報事業	館報千代の発行		地区費	継続	発行6回	—	—	—	実施内容参照	千代公民館
	目的	一般を対象に、地区内の動きを伝えると共に地区の記録として後世に残すことを図る	実施内容	まちづくり委員会の広報紙を兼ねての館報として発行している。 年間発行数：2ヶ月に1回の発行 計6回 仕様：タブロイド版2Pまたは4P			評価	数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 広報委員が責任を持って主体的に取り組んでおり、毎回スムーズに発行できている。しかし、委員の経験年数が短くなっており、経験の長い委員に頼りがちになっている。来年度、対策を検討していきたい。		
広報事業	ふるさとの便り発送事業		他会計	継続	年6回	—	—	33	館報発行時(2ヶ月に1回)	—
	目的	地区外の千代地区出身者を対象に、故郷の情報を伝えるために実施	実施内容	千代地区の出身者に、故郷の情報を館報千代を通じて伝える。 ふるさと千代会を通じて購読者の申し込みを受け付けている。			評価	数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 地区外に住む千代出身者の方へ、ふるさとの便りとして希望者に館報千代を郵送している。反響は大きく、毎回楽しみにしているとの温かいメッセージも寄せられている。		
育成事業	万古溪谷析の木ツアー		市・地	継続	1	72	72	180	7月12日	万古溪谷
	目的	児童を対象に、千代にしかない「万古溪谷の自然」を体験する中で、千代を知り、千代の人を知り、地域を愛する心を育む	実施内容	地元にある市の天然記念物「析の木」を小学生に実際に見てもらうことで自然に親しむとともに、千代にしかない「万古溪谷の自然」を体験する中で、千代を知り、千代の人を知り、自分を知ってもらうことを目的とする。 参加：児童33名、保護者13名、先生7名、案内人4名、役員15名 計72名 (コース整備費用は観光課負担)			評価	【総括と今後の方向付け】 児童と保護者が対象だが、学校の協力を得られ、大変多くの参加者に恵まれた。 析の木の歴史も学習しながら自然を肌で感じる事ができるため、小学生・保護者に大変好評だった。 来年度以降も学校と連携しながら安全に配慮しつつ継続して実施したい。		

千代公民館の事業報告

No.5

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	創作教室		市・地	継続	1	25	25	180	11月1日	千代小学校体育館
	目的	実施内容	H24.25と門松作りをしていたので今年度は趣を変えて凧作りを行った。 講師：関口兼善、関口紀幸、野田充夫			評価	【総括と今後の方向付け】 来年度は創作教室単体で開くのではなく、文化祭との同時開催というように、今までこの教室に参加しようと思わなかった方に参加してもらい、かつ、即時文化祭へ展示するなど多くの方に知ってもらえるよう工夫をしていきたい。			
育成事業	新春書き初め教室		市・地	継続	1	15	15	180	1月4日	千代公民館
	目的	実施内容	地域の方に講師となってもらい、地域の方と小学生の交流を図る場とする。 講師：篠田 孝雄 氏 内容：書き初めの指導、実践			評価	【総括と今後の方向付け】 講師の方の指導も熱心に聞き、自分が納得するまで書き初めに取り組んでいた。しかし、実情は児童らの宿題の場となっており、議論の結果、今年度を持って終了することとなった。			
育成事業	千代地区ウォークラリー		市・地	継続	1	59	59	180	実施内容参照	千代地区
	目的	実施内容	地元の小学生を対象に、千代地区各地の地理や歴史、自然に興味を持ってもらうとともに問題を協力して解くことでチームの良好な人間関係を築くことを目的として実施する。 コースを毎年変更して実施する。 ◇8/17 コース下見 ◇9/6 ウォークラリー実施 参加者：児童28名、保護者9名、先生6名、役員16名 計59名			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度より公民館事業として実施した。この事業においても学校が全面的に協力してくれ、大勢の小学生に参加していただいた。コースも毎年変えるため、参加者も毎年新たな発見を得ることができる。 自分の住んでいる地区に関心を持ってもらうのに有効であるため来年度以降も継続して実施したい。			
その他	千代地区成人式		市・地	継続	1	15	16	16	1月11日	千代公民館
	目的	実施内容	新成人実行委員が該当者の約半数がなってくれたため、式典は、新成人の希望をほぼ100%反映したものにした。千代保育園・千栄分園の年長さんに来てもらい踊りを披露してもらった。会場設営の時間を利用して、園児へのお返しの企画として、くまさんのおうちでピンゴ大会をした。 ・記念写真撮影・開式の辞・主催者挨拶・来賓祝辞・来賓紹介・祝電披露 ・新成人代表挨拶・千代保育園・千栄分園踊り披露・園児へのお返しの企画 ・乾杯・新成人自己紹介、近況報告・恩師よりお祝いのメッセージ ・飯田市消防団第13分団より・思い出のアルバム(スライド上映) ・万歳三唱・開式の辞			評価	数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 今年度竣工したくまさんのおうちで企画ができたことは新成人へお披露目の場としても有効だった。まちづくり委員会副会長の音頭で新成人の今後に幸多かれと万歳三唱をし、新成人の皆さんから千代地区の益々の発展を願った万歳三唱をもらい、役員・来賓ともに明日への活力を得ることができた。最後は文化委員でアーチを作り新成人を見送った。 今後は、成人式をきっかけに、新成人を何かしらの活動に誘い、または、活動を促しまずは楽しいことから始めて昔の青年団のような活動をしていきたい。			
その他	千代地区ソフトバレーボール交流会		地区費	継続	2	80	80	1,800	実施内容参照	千代小学校体育館
	目的	実施内容	千代地区ソフトバレーボールクラブ各団体との共催 ソフトバレー愛好者をはじめ小学生から一般まで参加いただけるように、レベル別に分けた組み合わせで開催。幅広い世代が楽しめ、交流の場。 ①9/7 8チーム参加 ②3/1 6チーム参加			評価	【総括と今後の方向付け】 幅広い世代がスポーツを通じて交流できる良い機会となった。 今後は、共催ではなく、クラブの自主運営をサポートする立場をとり、再来年からは代表者会議のみのサポートとし大会は完全な自主運営となるよう代表者と検討しながら進めていく。			

千代公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	どんぐりの会		0円	継続	132	132	24	1,800	実施内容参照	千代小・千栄小ほか
	目的	<p>一般を対象に、本の読み聞かせを通して、小学校と地域とを結び、地域の子どもは地域で育てるという意識の定着を図る</p>	実施内容	<p>小学校の朝読書の時間に本の読み聞かせを行うことで、小学校と地域を結び、繋がりをもち、地域の子どもは地域で育てるという意識の定着を図る。</p> <p>千代小学校毎週金曜8:20~8:40 千栄小学校:毎週水曜8:15~8:30 しゃくなげの郷:毎月第3週14:00~15:00</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 かねてよりあった千代小と婦人学級の結びつき、地域の子どもと自然と挨拶の出来る関係になりたいとの想いと千代小からの「読み聞かせをしてくれん?」という提案が結びつき、H20に発足・活動を開始した。 会員の高齢化が課題であるが、無理なく楽しくをモットーに、また、学校側からの要望にも真摯に耳を傾け、振り返りと改善を大切に息の長い活動となるよう支えていきたい。</p>		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	人形劇フェスタ観劇バスツアー		地区費	継続	1	55	55	200	8月6日	飯田市民館ほか
	目的	<p>保育園児、児童を対象に中心市街地でおこなわれている有料公演を観劇する機会とする</p>	実施内容	<p>保育園児、児童を対象として平日に中心市街地で行われている有料公演の観劇ツアーを実施し、地区公演では見られない人形劇に触れ、フェスタの雰囲気を感じてみる機会とする。</p> <p><行程> 飯田美術博物館プラネタリウム鑑賞→観劇「ほんわかシアター」</p>			評価	<p>数量的成果 大変満足100% (項目名と数値)</p> <p>【総括と今後の方向付け】 昨年度の反省を生かし、保育園・学校に年度初めに依頼した。その結果、大勢の参加者に恵まれ、バス1台から2台へ増やすほど大盛況であった。普段地区で見られない人形劇と出会う機会となり、フェスタの雰囲気を肌で感じる機会となった。 来年度以降も継続した事業としたい。</p>		

龍江公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(0~1才、2~3才)	市費	継続	25			50	事業内容のとおり	龍江公民館
	目的 保育園入園前の幼児と親を対象に、子供が心身共に健康でたくましく育つために必要な情報の提供や実践の機会とする。	実施内容 講師: 小木曾嘉子さん(指導者)、金田保健師(保健指導) 講師: 歯科衛生士他 保育園入園前の幼児と親を対象に、子どもが心身共に健康でたくましく育つために必要な情報の提供や実践の機会とする。また、親子遊びや集団遊びなどを通して、子どもの社会性や親子の繋がりを育てると共に、親同士の相互交流の場とする。 ◇0~1歳児グループ 5月~3月まで12回実施。季節ごとの催しを企画。 ◇2~3歳児グループ 4月~3月まで13回実施。季節の行事や図書館、人形劇鑑賞等様々な活動及び交流を展開。	評価 【総括と今後の方向付け】 家庭だけでは出来ない、子供同士のふれあいの場として役立っている。龍江地区などの中山間地では近所に同年代の子供や親がいない場合も多く、交流の場としての機能が果たせていると感じる。学級の中で指導者から成長階段に沿った助言や専門家からの情報提供を行っている。今後も子供の健全な発育や親同士のネットワークの構築を図るとともに、子育てに関する専門的な知識を提供していきたい。						
学級・講座	家庭教育講座(大豆栽培体験)	市・地	継続	4	30	88	22	12月3日・8日・10日・19日	龍江小学校
	目的 小学生を対象に畑で採れた大豆を使いきな粉や豆腐づくり体験を行う。	実施内容 講師: 前澤 隆志さん 協力: JA女性部、一英明さん 龍江小学校2年生が実施。 龍江小学校2年生で育てた大豆を使いきな粉、豆腐づくりの中で出たおからを利用しホットケーキ作りにも挑戦した。	評価 【総括と今後の方向付け】 龍江小学校2年生が大豆の種まきから栽培を行い、収穫や消費まで体験した。今年度は収穫した大豆を石臼を用いたきな粉作りも行った。恒例の行事となっており、指導者もだんだんと工程に慣れてきている。JA女性部や食農体験でお世話になっている地元協力者の参加もあり楽しく事業を行う事ができた。地域と学校がより結びつきよくなった。						
学級・講座	食育体験教室(季節の野菜づくり)	市費	継続	8	160	20	65	実施内容参照	
	目的 保育園児を対象に、食育の一環として季節の野菜を育て食農体験を行い、食の生産から調理、消費までを体験する機会の提供を図る。	実施内容 講師: 前澤隆志さん(龍江)、地域の協力者 保育園児を対象に食育の一環として食農体験を行う。食育の一環として季節の野菜を育て食農体験を行い、農作業だけでなく収穫物を実際に食する事で食の生産から消費までを体験する機会とする。 6/12サツマイモ植え・タマネギの収穫、7/1ジャガイモの収穫、9/9大根の種まき、10/7サツマイモの収穫、11/11タマネギ植え、11/19大根収穫、11/14五平餅の会、3/26ジャガイモ植え	評価 【総括と今後の方向付け】 保育園の協力により多くの園児の参加を得られた。参加した園児たちも笑顔があふれ、楽しみながら食物の栽培、収穫、消費が出来たと思う。幼児期・児童期の食農体験は子供の心身の発達に良い影響を与えることまた、地域の協力者とも世代を越えた交流になっている事から次年度以降も季節の野菜づくりを推進していきたい。						
学級・講座	親子人形劇の会	市・地	継続	1	40	40	150	2月12日	龍江保育園
	目的 保育園児、乳幼児の親子を対象に人形劇を観賞し親子の絆、人形劇の暖かさに触れる機会とする。	実施内容 人形劇団: 京芸 プログラム内容、「どろんこ劇場パートⅢ」 飯田文化会館、龍江保育園との連携の中で実施。 保育園児及び公民館乳幼児学級のみなさんが参加。親子で人形劇に触れあう機会を提供。	評価 【総括と今後の方向付け】 保育園のインフルエンザ流行があり、当初の日程を変更して行った。夏=人形劇にとらわれることなく、人形劇フェスタ以外で人形劇を実施。保育園児や乳幼児は親子で真剣に見入っていた。とても暖かさを感じる人形劇となり、未収園児及び未収園児の親が保育園との関係性を持てる事業となった。今後も、保育園や他の機関との連携を図り実施していきたい。						
学級・講座	そば打ち体験	市・地	継続	1	20		2,989	11月1日	龍江公民館
	目的 一般を対象に、そば打ち体験を行い学習と交流を図る。	実施内容 講師: 春日二八会(代表澤柳春好) 文化祭のイベントとして子どもから一般を対象にそば打ち体験を実施。そば粉からそばになる過程を実際に体験する機会の提供。	評価 【総括と今後の方向付け】 ここ龍江でもそば畑があり、実際にそのそばの実も使用されている。そば打ちを通して地域の事をしる機会になった。また実際に作ったそばを食すことで地域への愛着が芽生えたらよい。						

龍江公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	陶芸教室		市・地	継続	4	36	8	2,989	実施内容のとおり	三輪楽雅堂工房
	目的	実施内容	講師：三輪俊子さん(三輪楽雅堂) 一般を対象に、龍江地区の伝統的な天龍峡焼きや尾林焼きといった陶芸文化を身近に触れ実際に作る事で地域文化のすばらしさを実感していただく。また、文化祭で作品の展示を行う。 9/21(土)作陶(素焼) 三輪楽雅堂工房 10/18(土)施釉(本焼) 三輪楽雅堂工房 11/2、3 展示・講評 龍江公民館				評価	【総括と今後の方向付け】 作陶からはじまり素焼、施釉、本焼とすべての行程を体験することができた。また、講師は地元の陶芸家に依頼し説明等も含め大変勉強になったと思われる。今後も継続して行く中で、自主的なサークルとして活動できるよう支援していきたい。		
学級・講座	ストレッチ体操教室(のびのび元気体操)		市費	継続	2	40	20	2,989	3月6日、20日	龍江公民館
	目的	実施内容	講師：村沢由美子氏(健康運動指導士) 一般を対象にストレッチ体操を実施。昼間の時間帯で設定をし中高年の方をターゲットに実施。				評価	【総括と今後の方向付け】 引き続きサークル活動として活発に活動していくきっかけづくりとなった。また自主性も育まれ活発に活動が出来ている。今後は更なる参加者が増えることを望む。		
学級・講座	シェイプアップ体操(しなやかシェイプアップ体操)		市費	継続	1			2,989	3月27日	龍江公民館
	目的	実施内容	講師：片桐みどり氏(健康運動指導士) 一般を対象にエアロビクス体操を通して交流を図る。夜間の時間帯で設定をしより参加しやすい環境で実施。				評価	【総括と今後の方向付け】 引き続きサークル活動として活発に活動していくきっかけづくりができたのではないと思われる。新規参加者も図られ公民館の情報発信にもつながった。		
学級・講座	郷土を学ぶ講演会		市費	継続	1	30	30	2,989	9月10日	龍江公民館
	目的	実施内容	講師：大原千和喜氏 演題：郷土を学ぶ「ふるさとの大地は美しい」 生まれ育った郷土の歴史を学ぶため実施。地域外からも参加者があり関心の高さも伺えた。				評価	【総括と今後の方向付け】 例年大原さんを講師に講演会を行っている。今回のテーマは龍江の自然を題材にし、普段から見慣れている龍江を見直してもらい、自然環境や歴史に関心を持ってもらえるように企画した。先生のお話は珍しい資料なども用意して下さり、非常にわかりやすい内容であった。		
学級・講座	ふるさと再発見講座		地区費	継続	3	100		2,989		龍江地区内
	目的	実施内容	各分館で地区内の旧跡や自然、文化など龍江の歴史・文化を学ぶ機会とした。今一度龍江を使い振り返る機会とし、地域として守っていく物、残したい物を考え地域の価値観を高める機会とする。また分館活動の意味についても学習する機会となった。				評価	【総括と今後の方向付け】 今年度も、より身近な分館においてふるさと再発見講座を実施。身近なところからふるさとを考えるきっかけになったと考えられる。また、地元にいながら知らない事が多々ある事に気づかされた参加者も多く、郷土を知る教材として龍江かるたは非常に有効であった。地域の中で地区の宝・文化を共有し、語り継ぐ場としても重要な機会となっている。今後も継続して実施していき、郷土を愛する心の醸成を図りたい。		
学級・講座	健康教室		市費	継続	1	40	40	2,989	11月1日	龍江公民館
	目的	実施内容	講師：きんもくせい 一般を対象にヘルスチェックや骨密度の計測を実施。健康増進に向けての啓発も併せて行う事となった。				評価	【総括と今後の方】 自分の身体の事を理解し、健康を考えるきっかけになったと思われる。新たな団体との連携であり今後も連携した取組を模索していきたい。例年行っており、徐々に参加者も増えてきた。今後も自身の健康に気をつけてもらえるように継続していきたい。		

龍江公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	龍江絆駅伝		地区費	継続	1	600	600	2,989	12月1日	今田平周辺
	目的	実施内容	<p>体力増進と住民のコミュニケーションの場とする。また地域の交流と団結により、地域の活性化や地域づくりにつなげる目的も持たせる事業として開催。ゴール地点では、地域の皆さんから頂いた野菜を元に役員による豚汁のサービスを行っている。</p> <p>参加チーム数31チーム</p> <p>・小学生の部 3チーム(龍江小)・中学生の部16チーム(竜峡中、竜東中)・一般の部 12チーム(企業、常会、教職員、消防団、サークル他)</p> <p>8区間で実施</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>以前から安全面について意見が多く出されていた為、今回はコースを全面的に変更して行った。今田平を周回するコースとしたが、参加者がグラウンドに集結する為、多くの賑わいを見せることが出来た。ただ中継面等で改良をしなければいけない箇所もあり、今後改善しなければいけない。また近隣地区からの参加や常会など新規参加チームが増えている。常会や小中学生だけでなく地域企業の参加もあり、様々な団体の参加がある。来年度以降も継続を望む声が多く、地域に関係する皆さんの世代をこえた交流の場として今後も充実した事業としていきたい。</p>			
体育事業	アロマ講座		市・地	継続	1	15	15	2,989	2月1日	龍江公民館
	目的	実施内容	<p>講師：アロマヨガリトリート代表 森下晏希氏</p> <p>アロママッサージとハーブティによる心身のリラックスを図り、女子会のような雰囲気ですら楽しんでもらえるように実施。</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>普段、公民館に足を運ぶ機会が少ない女性を対象に講座を実施した。このような講座を機会に公民館を気軽な存在として捉えてもらえることを目的に実施していきたい。</p>			
広報事業	龍江新聞		地区費	継続	12			2,989	実施内容参照	龍江公民館
	目的	実施内容	<p>公民館事業に限らず地域の様々な情報や地域の抱える問題を取り上げ、住民が地域を考えるきっかけづくりを目的としている。</p> <p>◇毎月1日付発行、基本サイズ：タブロイド版 2頁</p> <p>第773号(4月)～第784号(3月)</p> <p>毎月：前月号校正、企画会議、割付作業、編集作業</p> <p>地区内配布894部、地区外発送118部、その他関係機関への配布</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>公民館行事の広報に留まらず、保育園、小、中学校、地域自治組織など龍江全体の行事を取り上げ地域の新聞としての役割を果たしている。昭和24年8月に第1号が発行され地区の記録としての役割も果たしていく。2年後には創刊800号を迎える予定であり、特別号の企画を考えていきたい。</p>			
広報事業	龍江新聞地区外発送事業		他会計	継続	12				実施内容参照	龍江公民館
	目的	実施内容	<p>◇毎月1日付発行、基本サイズ：タブロイド版 2頁</p> <p>第773号(4月)～第784号(3月)</p> <p>地区外発送118部 年間購読料1,200円</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>今後も多くの方にふるさと龍江の情報を提供していく取組として購読を勧めていきたい。</p>			
広報事業	龍江ホームページ運営		地区費	継続					実施内容参照	龍江公民館
	目的	実施内容	<p>詳しくはWEBで http://www.tatue.jp/ 検索：龍江地域づくり委員会</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>情報発信の相手方を意識した事業展開が望まれる。また情報発信の機会を多く行っていくこと、情報発信を多くの方にして頂ける工夫も必要。</p>			
育成事業	龍江少年少女クラブ合同発会式及び納め式		0円	継続	2	100	50		実施内容参照	龍江小学校体育館
	目的	実施内容	<p>龍江地区の少年少女クラブ関係者が一堂に会しクラブ発会式及び納め式を実施</p> <p>龍江少女バレークラブ、龍江少年野球クラブ、龍江青少年詩吟クラブ</p> <p>◇クラブ合同発会式 平成26年4月5日(土)</p> <p>◇クラブ合同納め会 平成27年2月28日(土)</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>子どもの数が減少する中、各クラブ合同での発会式及び納め会を実施している。なるべく子供達や指導者の負担とならないように事業の見直しを考えていきたい。</p>			

龍江公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	龍江ふるさと探検		市・地	継続	1	50	50	2,989	7月12日	龍江3区
	目的	実施内容	<p>地区内の旧跡や自然・文化を歩いて巡り、龍江の歴史・文化を学ぶことにより、ふるさと再発見と地区への愛着を高める機会とする。また、親子や他の家族との交流のきっかけとする。講師は地元方へ依頼。</p> <p>◇本年度コース3区 神明社→大願寺→水ばれ岩→龍角峯→今村公園→地藏堂→三区公民館 「おもしろ科学実験」→郷土食のごへいもちをいただく。</p>		評価	<p>【総括と今後の方向付け】 文化部、育成部、小学校PTAとの共催事業として行い、親子の参加が非常に多かった。講師には地元の方をお願いし、引率の方も説明できるよう自ら学習を行った。龍江かると案内看板を有効に利用するためにも、継続して親子や親子間のふれあい、郷土学習の提供をしていきたい。また、体験メニューはおもしろ科学工房の皆さんによる科学実験を行った。昨年の熱中症対策も考え、実験メニューは液体窒素を用いたものを行った。今後はマンネリ化の部分があるので、ウォークラリーの要素を取り込むなど行いたい。</p>				
育成事業	百人一首大会・龍江かるた会		地区費	継続	1	37	37	2,989	2月1日	龍江公民館
	目的	実施内容	<p>講師：公民館長 百人一首大会は日本文化に触れる機会とし、龍江かるた会は地区の文化・歴史・史跡を題材にした「龍江かるた」から地区を学ぶ機会とする。また、両大会とも学年対抗とせず、低学年・中学年・高学年に分けて行うことで異年齢の児童がふれあう場とする。</p> <p>百人一首大会：22回目 龍江かるた会：19回目</p>		評価	<p>【総括と今後の方向付け】 両大会とも学年を超えた交流の機会となっている。また、龍江かるた会は「龍江かるた」を通して龍江の地域の今昔や、史跡、名所を知ることができ、非常に有意義な事業としてとらえている。地域の歴史を学びながら友達と仲良くなれる非常に有効なツールだと考える。今後も様々な事業で龍江かるたを活用し子供達へ地域の歴史や良さを広めていきたい。時期的にインフルエンザが流行するので、衛生面で親が安心して子供を参加させる事が出来る環境作りも視野に入れていきたい。</p>				
育成事業	水辺の楽校魚釣り・魚つかみ大会		地区費	継続	1	120	120	2,989	9月6日	龍江水辺の楽校
	目的	実施内容	<p>小学校PTAと下伊那漁業共同組合、総合学習館かわらんべと合同で実施。第一部として魚釣り大会、第二部として魚のつかみ取り大会を行った。魚はニジマスとイワナを放流した。</p>		評価	<p>【総括と今後の方向付け】 子供達はこの事業を非常に楽しみにしているようで多くの笑顔があふれた。環境を考える場、また魚釣りを通して親子団らの場となった。また子供は魚つかみや川遊びを通じて、川に親しんだと考える。また生き物の命についても考える良い機会となった。現在は安全面から川遊びが敬遠されているが、児童の貴重な体験の場として今後も実施していきたい。また今後は魚をその場で「食す」という観点も念頭に置き、生命の尊さや人間の業にも着目したい。水辺の学校の整備を天上と協議の上進めていきたい。</p>				
合同事業	竜東中学校地区交流スポーツ大会		地区費	継続	1	120	120	120	5月17日	竜東中学校
	目的	実施内容	<p>千代、上久堅、龍江の3地区で青少年健全育成組織が主体となって開催。各地域の細かい単位でチームを編成し小学生を含め、ペタンク大会を実施。地域内及び次年度入学予定の小学生との交流を図る。</p>		評価	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度も小中連携教育の一環から来年度中学校へ入学する小学6年生にも参加を呼びかけた。参加者や保護者からも早く中学校の雰囲気になれる良い機会となったと好評だった。今後は他の競技内容への変更も視野に検討する。</p>				
その他	今田人形浄瑠璃の保存と継承		他会計	継続	4			2,989	実施内容参照	今田人形の館
	目的	実施内容	<p>今田人形浄瑠璃の保存と継承を図る。</p> <p>6/21 今田人形保存会総会、7/1 保存会報「今田の木偶」発行、8/18・19 竜峡中学校今田人形座渋谷公演、10/18・19 大宮神社秋季祭礼奉納公演（宵祭り蠟燭芝居）、大宮神社秋季祭礼奉納公演（本祭り）</p>		評価	<p>【総括と今後の方向付け】 今年はNHKに今田人形が取り上げられ、地区内外から多くの方に注目された。また中学生の渋谷公演では、本格的な設備会場で公演が出来、非常によい経験になった。今後も積極的に今田人形の保存と継承を図れるよう支援していきたい。今田人形保存会、地区、公民館が協力して振興策を考えていきたい。</p>				

龍江公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	人形劇フェスタ観劇バスツアー	他会計	継続	1	42	42	129	8月8日	
	児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする	実施内容	小学校児童を対象として夏休みを利用し平日にホールで行われる大型人形劇の観劇ツアーを実施し、龍江地区以外で行われる人形劇また、飯田の人形劇の祭典でもあるフェスタの雰囲気に触れる機会としたい。			評価	【総括と今後の方向付け】 普段地区で見ることのできない人形劇と出会う機会となった。なかなか地区の中では活気のあるフェスタの様子を見ることが出来ないため、飯田に根付く文化の様子を実際に体験できたのではないかなと思う。また美博でのプラネタリウムも好評であった。		
その他	龍江地区成人式	市・地	継続	1	24	24	28	1月11日	龍江公民館
	龍江地区在住の新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を改めて振り返り、感謝する場として位置づけ実施。	実施内容	新成人に自分が生まれ育った地域を改めて振り返り、感謝する場として位置づけ、地域全体で新成人をお祝いすることを目的として実施。開催にあたっては、新成人が自ら作り上げる成人式を目指して、龍江在住の新成人該当者6名が主体となって企画・立案し当日の運営も行った。 地域学習：天竜川の歴史「天竜かるた」			評価	【総括と今後の方向付け】 今年も昨年に行っている新成人全員による自己紹介を行った。屋号や保護者の名前も話してもらい来賓や役員との交流につながる機会を設けている。地域全体で新成人の門出を祝うことが出来、出席者全員に笑顔があふれていた。今後、新成人の人数が減少する中、様々な視点で地域を盛り上げる人材育成の場としても取り組みたい。		
その他	今田平農村広場グラウンド整備	地区費	継続	1	100	100		4月29日	今田平農村広場
	今田平農村広場のグラウンドについて、安全に利用できるよう適切な管理を行う。	実施内容	龍江地区内の各区、団体及び地区外利用者総出により今田平農村広場のグラウンド整備を行う。安全に利用できるよう、地区の早起き野球クラブとも連携し管理運営を行う。			評価	【総括と今後の方向付け】 引き続き地区全体で安全に利用できるよう管理していく。		
その他	武田信玄狼煙リレー	市・地	継続	1	100	100	2,989	9月6日	龍江公民館
	かつて情報伝達として用いられた狼煙を通じ、先人の文化を学ぶと共に地域を考える機会とする。	実施内容	講師：沢柳 徳次さん 飯田下伊那から諏訪までつながる武田信玄の瀧紙リレーに参加し先人の文化を感じる。また会場で狼煙や武田信玄についての概要説明を行ってもらった。			評価	【総括と今後の方向付け】 二年目となる事業であるが、今年も魚釣り大会と合同開催としたため多くの方が集まった。今年も点火の際に、まいぎりをういて行った。各地区合同で行っている事業であるが、どこの地区も内容の中身が実行者にしか理解できていないのではないかなと感じる。		
その他	飯田市合併50周年記念12時間ソフトボール大会	地区費	新規	1	400		2,989	9月7日	今田平農村広場
	龍江が飯田市に合併して50周年を記念し、ソフトボールを通して、地区住民の親睦を図る。	実施内容	飯田市合併50周年を記念して、ソフトボール大会を行う。 9/7(日) 午前6時～午後6時まで (当日は台風の影響により時間を縮小して実施。50イニングまで行った。 会場：今田平農村広場			評価	【総括と今後の方向付け】 今まで節目の年の恒例行事として行われている24時間、12時間ソフトボール大会である。人口減少に伴いチーム数が心配されたが、地域内の各種団体の力を借りる事が出来た。また、当日は台風の影響により開場や時間を変更して行ったが、スムーズに出来、地域・家族等の親睦が有意義に行えたと感じた。		
その他	和紙作り	市・地	新規	5	130	26	26	1月23日・26日・2月2日・5日・6日	龍江小学校他
	龍江でも以前行われていた紙漉を復興し、伝統文化として継承していく。	実施内容	講師：前澤 隆志さん、長沼 平一さん 龍江で紙漉が行われなくなって40年程が経過する。農家にとって冬期の紙漉は大事な収入源であったが、時代の変化と共に昭和48年をもって龍江で紙漉を行う家は無くなってしまった。 今一度、「和紙の里龍江」を継承するために子供達に紙漉体験を行う。			評価	【総括と今後の方向付け】 小学校より、卒業記念に紙漉を行いたいとの話があり、今回の事業につながった。約40年振りに紙漉を行うことになったが、知識や道具も不十分であったが講師の皆さんの熱意により形にすることが出来た。次年度以降も継続していければよいが、本来の紙漉をどこまで目指すか学校とも協議しながら考えていきたい。		